

地域アクションプランの 上半期の進捗状況等

・安芸地域	1
・物部川地域	23
・高知市地域	43
・嶺北地域	59
・仁淀川地域	75
・高幡地域	101
・幡多地域	123

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H29.9.19
安芸地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（32項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

林業分野では、室戸市において土佐備長炭の生産量の増加を図るため、市有林の立木の売却について関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産業分野では、高鮮度処理による定置網漁業漁獲物の付加価値向上や、産地見学会の開催などによる販路拡大に取り組んでいる。

観光分野では、企画展の実施などにより志国高知幕末維新博の各地域会場への多くの集客につながっている。また、日本遺産に認定された魚梁瀬森林鉄道については、関係機関と連携して、情報発信による誘客の取り組みなどを積極的に行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐あき ・ JA 馬路村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 500 t <H26 : 449t></p> <p>加工仕向量(1～12月) : 5,000 t <H26 : 4,489t></p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 36億円 <H26 : 32億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 400t</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 4,800t</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 32億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 350t → 実績356 t</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 4,800t → 実績5,995t</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 32億円 → 実績28.9億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額(1～6月): 11億1675万円(前年同期比98%)</p> <p>○新植・改植の推進(青果の生産拡大と品質向上)(JA 土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習、改植事業等の勉強会(24回) <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工原料の品質ワンランクアップ(JA 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催: 23回) ・消費地での青玉ユズの消費宣伝(8/5～8/6、JA 土佐あき) ・加工品の販売強化に向けたポン酢及び化粧品の製造施設の整備(産振総合補助金を活用・JA 馬路村) (6/13 着工、1月完了予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに対応するための加工品製造施設の整備(JA 馬路村)
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品数: 4アイテム(累計) <H26: 2アイテム></p> <p>既存商品の販売数(1～12月): 5,000本 <H26: 3,584本></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>商品数: 4アイテム(累計)</p> <p>既存商品の販売数(1～12月): 4,000本</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>商品数: 3アイテム(累計) → 実績3アイテム(累計)</p> <p>既存商品の販売数(1～12月) : 4,000本 → 実績2,567本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発に向けた企業訪問(4/20、5/29) ・食品メーカーとの連携による新商品の開発(ポンカンコンフィチュール、ポンカンドライフルーツ) ・ポンカン生産者確保のため高知求人ネットへの求人登録 (6/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上げ向上を目指した商品の磨き上げや新商品の開発 ⇒搾汁方法の見直しやパッケージの改良 ⇒専門家の活用による菓子類等の新商品開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭室戸生産組合 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>出荷量 : 1,580 t <H26 : 1,076 t ></p> <p>新規就労者数 : 26人 (H28~31累計) <H24~27 11人 ></p> <p>製炭窯設置 : 21基 (H28~31累計) <H24~26 増設7基 ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,360 t</p> <p>新規就労者数 : 12人 (H28~29累計)</p> <p>製炭窯設置 : 10基 (H28~29累計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>出荷量 : 1,260t</p> <p>新規就労者数 : 6人 → 実績5人</p> <p>製炭窯設置 : 5基 → 実績5基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興策の検討 ・製炭原木(ウバメガシ)の植栽試験の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒室戸市有林等の売却 ⇒原木伐採のための作業道開設への支援 ⇒ウバメガシ等の実態調査による地域内での効率的な原木生産の検討 ・研修生の自立支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒既存支援制度の周知 ・生産者団体の組織強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒各事業者が連携した国補助事業等の実施を検討
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額 : 277,000千円 <H26 : 251,910千円 ></p> <p>加工部門雇用者数 : 27人(現状維持) <H26 : 27人 ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>木製品出荷額 : 264,000千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>木製品出荷額 : 258,000千円 → 実績207,837千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人 → 実績25人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ事業を活用した販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 見本市(インテリアライフスタイル)へ出展 (6/14~6/16) webサイト、カタログの制作

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・H30以降の新商品販売に向けた商品化準備</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・木製品の販売促進 ⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化 ⇒都市部への木製品出荷体制整備を検討</p>
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <p>・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会</p> <p>[水産加工]</p> <p>・(有)タカシン水産</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：20,000千円<H26：0円> 簡易加工品の販売額：3,000千円<H26：0円> 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場) ：1.5億円<H26：0.8億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000千円 簡易加工品の販売額：300千円 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場)：80,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000千円 → 実績306千円 簡易加工品の販売額：300千円 → 実績63千円 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場)：80,000千円 → 実績75,322千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額(6月末)：92千円 (内訳：室戸85千円、中芸7千円)</p> <p>簡易加工品の販売額(6月末)：0円</p> <p>加工品販売額(有)タカシン水産室戸工場(6月末) ：26,804千円(前年同期比133%)</p> <p>○高鮮度処理の取り組み(室戸市定置協及び中芸定置協)</p> <p><高鮮度処理魚の増産></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理の意識醸成に向けた学習会の開催(1回) ・定置網漁業者等への技術指導7回(室戸3回、中芸4回) <p><高鮮度処理魚の販路拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地見学会の開催(室戸1回) ・新規参入を希望する産地買受人との事業協議(2回) ・イベントでの高鮮度処理魚のPR(2回) ・(室戸)サンプル出荷：3社(うち成約0社) <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加領郷魚舎が原魚の仕入れを委託している集落活動支援センター「なはりの郷」が奈半利町漁協での買参権を取得 <p>○加工品販売の取り組み((有)タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者委託訓練の受講生を正規に雇用(5/13～)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理技術と販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定置網漁業者への指導による高鮮度処理技術の定着及び実施体制の構築 ⇒産地買受人を介した高鮮度処理魚の試験販売等 ○簡易加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原魚の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原魚の安定調達に向けた仕組みづくりの検討 ○加工品の取り組み ((有) タカシン水産室戸工場) <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒HACCP 講習会への参加を通じた育成
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸 (有) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 370,000千円<H26 : 308,334千円> 来場者数 : 260,000人<H26 : 230,887人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高 : 365,000千円 来場者数 : 260,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高 : 350,000千円 → 実績364,127千円 来場者数 : 250,000人 → 実績 263,368人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (6月末) : 89,806千円 (前年同期比108%) 来場者数 (6月末) : 71,554千円 (前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施 (中川内地区) ・農業複合経営拠点化に向けた協同キラメッセ室戸 (有)、市、県の三者協議の開催 (1回) ・農村集落活性化協議会の設立 (4/21) ・6次産業化セミナー (実践コース) 参加 (6/23、7/27、8/25) ・複合経営拠点推進フォーラム参加 (7/18) ・先進地視察 (7/21~7/22 農業体験宿泊施設・農家レストラン「秋津野ガルテン」(和歌山県田辺市)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足や農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 <ul style="list-style-type: none"> ⇒農業経営や持続可能な集荷体制の構築を目的とした農業複合経営拠点化に向けた、将来ビジョンの策定や研修会等の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業: 3件(H29~31累計) <H28: 0件></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業: 1件</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>— (H29新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ事業を展開(第3号店:H28.12~H29.6月、第4号店:H29.7月~) ・高知大学地域協働学部との連携について検討 ・第10回全国「商い甲子園」開催(8/12) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の目標とする将来像の検討 ⇒産振アドバイザーの活用による関係者協議の実施
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 168,990千円<H26: 141,938千円> 来場者数: 180,000人<H26: 157,790人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高: 168,990千円 来場者数: 180,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高: 162,412千円 → 実績177,031千円 来場者数: 180,000人 → 実績189,747人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末): 48,537千円(前年同期比105%) 来場者数(6月末): 50,480人(前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(2校) (修学旅行生への土産物の販売) ・てるてる祭り(東洋町)などへのイベント出店(5/13、6/3)やワークショップ(かご編み)の開催(6/20) ・大阪府内(13箇所)への営業活動(6/16~6/23) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客など多客時の対応 ⇒店舗の狭隘対策や受入れ体制について関係者間で協議 ・特産品の開発と販路拡大 ⇒地域食材を活用した新たな加工品開発のための施設整備の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 20,000千円 <H26: -></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高: 13,500千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高: 13,500千円 → 実績180千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単補助金の活用により自社HPを作製((株)熊谷ファーム、8月) ・高知県産業振興センターと商品開発について協議(1回) ・こうち農商工連携基金を活用したペットフードの試作開発、アンケートの実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットフードの新商品開発と販路拡大 ⇒商談会等への出展による販路拡大 ⇒加工体制強化の検討
<p>■No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48 ・漁協女性グループ <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,120千円 <H26: 5,140千円></p> <p>農水産加工施設の売上高 : 9,000千円 <H26: 0千円></p> <p>水産加工施設の売上高 : 12,000千円 <H26: 3,220千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,176千円</p> <p>農水産加工施設の売上高 : 11,297千円</p> <p>水産加工施設の売上高 : 17,227千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 7,887千円 → 実績6,300千円</p> <p>農水産加工施設の売上高 : 5,000千円 → 実績11,917千円</p> <p>水産加工施設の売上高 : 5,600千円 → 実績24,634千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(6月末) : 1,770千円(前年同期比105%)</p> <p>農水産加工施設の売上高(6月末) : 4,702千円(前年同期比250%)</p> <p>水産加工施設の売上(6月末) : 8,929千円(前年同期比293%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○JA 加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利味噌の贈答品のパッケージデザイン・商品販売について、県よろず支援拠点コーディネーターとの協議(5/12) ・製造計画や新商品開発について関係機関との協議(7/10) <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(15回) ・まるごと商談会への参加(1回) ・百貨店等での催事出店(5回) ・1周年記念イベントの実施(5/21) <p>○水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(15回) ・新商品の開発 ・スーパー等との商談会への参加(2回) ・おさかなまつり等の催事出店(6回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大のための販売体制の強化 ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大や新商品の開発 ⇒アドバイザーの指導による販売体制の強化や生産性の向上
<p>■No. 15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・民間事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>体験受入回数：28回<H25：24回></p> <p>受入人数：計1,423人(体験271人、見学1,152人)</p> <p><H25：計1,186人(体験226人、見学：960人)></p> <p>塩関連での就業者数：10人(累計)<H26：2人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>体験受入回数：26回</p> <p>受入人数：計1,305人(体験249人、見学1,056人)</p> <p>塩関連での就業者数：2人(累計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>体験受入回数：25回 → 実績50回</p> <p>受入人数：計1,245人(体験237人、見学1,008人)</p> <p>→ 実績計338人(体験158人、見学180人)</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験受入回数(6月末)：14回(前年同期比100%)</p> <p>受入人数(6月末)：計97人(前年同期比84%)</p> <p>(体験41人、見学56人)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩研修ハウス、附带施設の整備(産振総合補助金(担い手確保事業)を活用)(6/22着工、9/29完成予定) <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内での周遊促進のため、製塩体験を観光クラスター整備計画における体験メニューの一つとして位置付け ・製塩体験施設パンフレット制作(高知県歴史観光資源等強化学業補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全天日塩の活用計画の策定と実行 ・塩職人希望者の育成・環境整備 ⇒研修者の受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客のためのPR(体験施設) ・「塩のまち」として田野町ブランドの発信 ⇒田野町内での周遊を促進する取り組み(パンフレット製作、スタンプラリーの実施、案内看板の整備等)による集客力のアップ ⇒町HPや移住フェア等で情報発信
<p>■No.16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高(1~12月):400,000千円<H26:258,729千円> 入込数(1~12月):265千人<H26:221千人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高(1~12月):360,000千円 入込数(1~12月):244千人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高(1~12月):294,047千円 → 実績319,170千円 入込数(1~12月):232千人 → 実績272千人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(1~6月):169,313千円(前年同期比111%) 入込数(1~6月):138千人(前年同期比103%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、道の駅指定管理者(田野駅屋連)及び地域本部による情報共有会議の開催(月1回開催) ・外商の拡大に向け、外商公社へ田野駅屋野菜情報の提供(月1回) ・GW臨時観光案内の実施(4/29~5/7) ・ビアガーデンの実施(7/8)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒商品の充実・強化のため地元食材を活用した加工品の開発 ・町と道の駅指定管理者間の連携体制の強化 ⇒月1回の情報共有会議の開催による協議の継続
<p>■No. 17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・(有) かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000千円<H26：135,000千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高：165,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高：165,000千円 → 実績151,656千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末)：40,164千円(前年同期比98%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会に出展 ・新商品の販売に係る進捗管理、販路開拓等について関係者協議(2回) ・6次産業化セミナー実践コース受講(6/23、7/27、8/25、9/29予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の販路開拓 ⇒商談会等への参加・テストマーケティングの実施 ・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討
<p>■No. 18 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)高知県東部観光協議会 ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) ：2,606,000人<H27：2,401,821人></p> <p>圏内宿泊者数(1~12月) ：150,000人<H27：138,229人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,468,500人 圏内宿泊者数(1~12月)：143,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,402,000人 → 実績2,343,600人</p> <p>圏内宿泊者数(1~12月)：139,000人 → 実績138,600人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾開催(3回) ・旅行会社等へのセールス活動(8日) ・県外イベント等でのPR(4日) ・教育旅行の受入れ(中学校5校) ・民泊登録世帯(7月末):161戸 ・四国デスティネーションキャンペーン(4~6月)中に運行された「太平洋パノラマトロッコ」(4~5月の土日祝日21日間運行。乗車人数計2,095人)で地域のおもてなし(ガイド、物販等)実施 ・高知東部食プロジェクト第1弾ポスター、パンフレット、のぼり旗配布(8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における農業や漁業の体験学習時間の設定や天候不順への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒課題の共有及び改善策の検討 ・教育旅行における民泊登録世帯の増 <ul style="list-style-type: none"> ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施 ・志国高知 幕末維新博の第2幕に向けた各観光施設の磨き上げや周遊プランの造成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒幕末維新博と連動した企画展、イベント開催による誘客の促進や土佐の観光創生塾などを活用した地域の事業者連携による地域観光のクラスター化
<p>■No. 19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,500人<H26:846人> 拠点施設年間来館者数:1,000人<H26:-></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備) ※H31整備予定</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 → 実績950人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備)</p> <p>[取組状況]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績(7月末):121人 (前年同期比58%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会運営委員会を開催(4/13)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林鉄道から日本一のゆずロードへーゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化ー」が平成29年度日本遺産に認定(4/28) ・中芸5町村各地で祝日本遺産認定キャンペーンの実施(4/29～5/7) ・文化庁主催の平成29年度日本遺産魅力発信推進事業に向けた研修会に出席(5/1) ・中芸広域連合長・副連合長会で組織体制等について協議(5/23) ・協議会第4回総会(5/30) ・日本遺産プロデューサーより日本遺産の取組みにアドバイス(6/1～6/2) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会役員会(5/29)及び総会を開催(6/20) ・協議会第5回総会を開催(6/29) →協議会名称を「中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会」に変更し、新体制での活動開始 ・旅行商品のPR(11月から日帰りツアー実施予定) <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産サミット in 京都における商談(7/1～7/2) ・「ツーリズム EXPO ジャパン2017」日本遺産PRブース出展(出展者:文化庁)への参加(9/21～9/24予定) ・日本遺産魅力発信推進事業の実施(7/14交付申請) ・ブランド部会・活性化部会・ゆず部会・林鉄部会4部会を協議会内に設置(8/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ⇒PR事業の実施 日本遺産認定記念シンポジウムの開催(10/1予定) ・3年間の補助金終了後の継続した取り組み ⇒持続的な運営に向けた仕組みづくりの検討
<p>■No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000人 <H26 : 7,869人></p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000人 <H26 : - ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000人 室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28到達状況]</p> <p>ジオパークガイド利用者数：8,000人 → 実績7,076人 室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000人 → 実績76,629人</p> <p>[取組状況]</p> <p>ジオパークガイド利用者数(6月末)：2,107人 (前年同期比73%)</p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数(6月末)： 20,449人(前年同期比93%)</p> <p>○室戸ジオパーク推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオ市開催(5/3～5/5) ・室戸青少年自然の家と共同で「室戸岬ミニクルージング」開催(5/3～5/5) ・室戸世界ジオパーク全体会(6/8)において、市民等と今後の取り組みについてワークショップを開催 ・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(6/8)開催 ・各テーマ「もてなす」、「稼ぐ」、「広める」ごとに室戸世界ジオパーク推進チーム会を開催(6/8～7/30) ・ジオばた会議(室戸ジオパークいどばた会議)の開催による住民との意見交換(7箇所 7/11～7/20) ・ガイド研修に向けたガイド団体(佐喜浜・吉良川・室戸岬)の意見交換会(7/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「室戸世界ジオパークセンター」の機能充実 ⇒利用者等のニーズを踏まえた磨き上げの実施 ・ジオツアーや体験プログラムの充実 ⇒ジオツーリズム推進チーム会によるセンターを拠点とした魅力ある周遊コースの開発や磨き上げ、実施体制について検討 ・再認定への対応 ⇒再認定に対応するための専任職員の配置 ⇒サイトの分類の見直し及び新たなサイト候補地の検討 ・遊休地(体育館、土地)の利活用 ⇒関係者間での協議・検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 31,000人 <H26 : 24,431人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000人 → 実績23,916人</p> <p>[取組状況]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数(6月末) : 5,696人 (前年同期比90%)</p> <p>○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施(5回) ・教育旅行の受入(イルカ教室+トレーナー体験、4校 39名) ・日曜市(高知市)の室戸市ブース等イベントへの出店(1回) ・観光創生塾へ参加(6/5、6/14) <p>○室戸黒潮協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験)(4校 344名) ・カツオの薫焼きたたき作り体験(7月末) : 122名実施 <p>○(一社) うみ路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験の実施に向けたスジアオノリ養殖施設の完成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の魅力向上 ⇒新たな体験プログラムの造成 ・体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の情報発信 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者や東部観光協議会等と連携した広報を検討
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人<H26 : 196,895人> 市内年間宿泊者数 : 25,000人 <22,721人(H22~26平均値)> ちりめん井販売食数 : 50,000食<H26 : 40,846食></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 50,000食</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐あき ・ 安芸市観光ボランティアガイドの会 ・ 廊中ふるさと館 ・ メリーガーデン ・ はたやま夢楽 ・ 安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・ 道の駅大山 <p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[H28到達状況]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人 → 実績見込 約260,000人</p> <p>市内年間宿泊者数 : 25,000人 → 実績25,892人</p> <p>ちりめん井販売食数 : 45,000食 → 実績48,324食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廊中ふるさと館のサービス等向上を目的とした先進地視察研修の実施（5/22） ・ 道の駅大山の改修についての関係者協議（5/26、6/22、6/27、7/5、7/26、8/18） ・ 県立安芸桜ヶ丘高校ビジネス応援部による「安芸の土佐ジローラーメン街道」プロジェクトの実施（7/29～10/29） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラム等の新たな造成と磨き上げ ・ 周遊観光メニューの充実 ⇒「土佐の観光創生塾」を通じ、観光関係者連携で伊尾木洞を中心とした周遊プラン作成 ⇒女性をターゲットに据えた道の駅大山の改修（飲食スペースの拡大等）
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 ・ 地元マリンスポーツ関係事業者 ・ 宿泊事業者 ・ 東洋町観光振興協会 	<p>[目標（H31）]</p> <p>体験者数：5,000人<H27：－></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>体験者数：1,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>体験者数：1,000人 → 実績 ー</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験者数（7月末）：136人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育旅行の受入：3校（22戸 187名） ・ 東洋町中山間地域活性化協議会の設立（6/9） ・ 特産品「冷凍こけら寿司」の試作品作成 ・ 大阪海遊館イベント参加（7/8～7/9） ・ 地域資源を活用した体験プログラムや企画商品づくりなどについて、産振アドバイザーを活用（1回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラムの受入体制の強化 ⇒体験者受入に向けて東洋町観光振興協会の法人化及び事務所開設の準備

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 ⇒東洋町観光アプリ（TOYO ナビ）の充実及びPR強化 ⇒「イカダでの釣り体験」など観光客向けの新たな体験プログラムの造成や、教育旅行の受入に向けた「カツオのたたき体験」の実施を検討 ・ サーフィン客等の受入施設の整備 ⇒サーフィン客へのアンケート調査の結果を基に、必要な施設整備などを検討 ・ 東洋町の体験観光の魅力向上 ⇒マーケティングやコンテンツの磨き上げ、人材育成、情報発信を実施（農山漁村振興交付金事業を活用） ・ 特産品の商品化 ⇒冷凍こけら寿司の商品化及び商談会等への参加
<p>■No. 25 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北川村 ・ (株)きたがわジャルダン ・ 北川村観光協会 ・ NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：108,000人 <H26：80,983人> (モネの庭：70,000人) <H26：53,174人> (北川村温泉：28,000人) <H26：21,682人> (中岡慎太郎館：10,000人) <H26：6,127人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：78,000人 (モネの庭：68,000人) (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館：10,000人)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：69,000人 →実績69,675人 (モネの庭：62,000人) →実績63,415人 (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館：7,000人) →実績6,260人</p> <p>[取組状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数 (7月末)：47,077人 (前年同期比133%) (モネの庭：42,464人 (前年同期比129.5%)) (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館：4,613人 (前年同期比176.3%))</p> <p>○モネの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新従業員育成の体制づくりのため、カフェ「モネの家」に県産業振興アドバイザーを活用(3回) <p>○北川村温泉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月より本体工事着工(H30.5月末竣工予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○中岡慎太郎館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慎太郎企画展、花家紋アートの開催(県地域イベント支援事業費補助金を活用) ・多言語化対応、散策マップの作成、HPのスマートフォン対応等(歴史観光資源等強化事業費補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内周遊のしくみづくり <p>⇒連動したイベントの開催や温泉オープンを視野に入れた各施設間での交通アクセスの検討</p>
<p>■No. 28 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・(一社) なはりの郷 <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>集出荷センター取扱高: 3億円 <H27. 7月~H28. 6月: 2億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>集出荷センター取扱高: 2.5億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度理事会の開催(6/5、6/30) <p>○一次産業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業受託作業開始(5月~) ・農業複合経営拠点運営委員会への参加(2回) ・複合経営拠点推進フォーラム参加(7/18) ・農業受託事業推進のため農機導入(農業複合経営拠点事業補助金を活用)(5月) ・農機・集出荷センター内備品の導入予定(集落活動センター推進事業補助金を活用) ・農畜産物集出荷センター及び就農研修施設の整備(12月完成予定) <p>○観光・移住部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なはりの郷活性化協議会観光部会の開催(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの円滑な運営 <p>⇒アドバイザーの派遣や情報提供などにより、各事業の円滑な推進を支援</p>
<p>■No. 29 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>交流人口 : 3,600人<H26: 3,329人></p> <p>じねんレジ通過者 : 28,000人<H26: 25,711人></p> <p>集落活動センター利用者数: 3,200人 <H26. 12月~H27. 3月: 689人></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山を元気にする会 ・ 安田川漁協 ・ 自然薯生産組合 ・ 味工房じねん ・ 中山合同女性部 	<p>[H29到達目標]</p> <p>交流人口 : 5,250人 じねんレジ通過者 : 26,400人 集落活動センター利用者数 : 3,250人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>交流人口 : 3,400人→実績 5,120人 じねんレジ通過者 : 26,400人→実績24,600人 集落活動センター利用者数 : 2,400人→実績 3,158人</p> <p>[取組状況]</p> <p>交流人口 (7月末) : 929人 じねんレジ通過者 (6月末) : 5,701人 集落活動センター利用者数 (7月末) : 513人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知大学との連携 <ul style="list-style-type: none"> ▶ えんむすび隊 : 自然薯栽培支援 (天候不良により中止) 及び地域住民とのワークショップ実施、 ▶ 医学部看護学科 : 地域生活者支援実習 (5/23~5/25) ▶ 安田の食応援隊 (11人) : 食をテーマとした地域活動 ▶ 中山を元気にする会定例会で H30年度から地域協働学部の受入れを承認 (6/15) ・ 自然薯栽培用資材の導入による栽培規模拡大 (集落活動センター推進事業費補助金 (経済活動拡充支援事業) を活用) ・ 安田町ふるさと応援隊の追加導入 (4/17~1人、6/5~1人、計2人) ・ おもてなしの水辺創成事業実施 (河川整備8/6) ・ 旧中山小中学校活用検討委員会の開催 (8月予定) ・ コミュニティカフェ喫茶よってん屋の営業再開 (8/8~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等 ・ 旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定 ・ 集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒安田町ふるさと応援隊と大学、町、県等各関係機関の連携による活性化に向けた取り組み

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,830人以上 <H24～26平均値：1,523人></p> <p>山村留学による魚梁瀬地区への転入：5組<H26：4組></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,600人 山村留学による魚梁瀬地区への転入：4組</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,600人→実績962人 山村留学による魚梁瀬地区への転入：4組 →実績3組</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬ふるさと応援隊の追加導入：H28 1人→H29 3人 (うち1名は9月末まで) <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬ふるさと応援隊を中心にGWイベントを実施 (来場400人超) ・四国運輸局次長来村・視察(7/13～7/14) ・ダム湖でのSUPの検討開始(東洋町観光協議会訪問 (7/12)) <p>○山村留学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月より新たな転入1組(H29年度当初2組→3組) <p>○シキミ・サカキ採取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林技術センター、安芸林業事務所との現地調査(7/20、 8/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シキミ・サカキ採取 ⇒森林技術センター、安芸林業事務所の協力のもと産業化を検討 ・集落活動センター設立への意識づくり ⇒地域住民及び魚梁瀬ふるさと応援隊の取り組みを支援するとともに、集落の活力づくり支援事業費補助金の活用及び集落活動センターの立ち上げを提案 ・日本遺産認定の活用 ⇒産振アドバイザーを活用した視察の実施と観光活性化策の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村集落活動センター推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>サトウキビ収穫量：5t<H27：0t></p> <p>移住世帯数：5世帯(H28～31累計)</p> <p style="padding-left: 40px;"><H24～27：3世帯></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>サトウキビ収穫量：0.3t</p> <p>移住世帯数：3世帯</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会総会開催(1回) ・全体会開催(3回) ・取り組み事業の追加の決定(シキミ・サカキの活用) ・3部会(竹の活用、サトウキビ生産・黒糖の製糖、シキミ・サカキの活用)立ち上げ ・集落活動センターげいせい通信(村広報折り込み)発行(2回) ・シキミ・サカキ専業農家(先進地)視察実施(7/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒プレイヤーの掘り起こし(集活センター通信等による住民への事業周知及びメンバーからの声かけ) ・村内製品の地産外商、交流人口拡大に向けた具体的な取り組みの検討 ⇒村内製品の加工施設の整備を検討するとともに、移住相談会等への積極的な参加及び情報発信

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■NO. 6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>4/28 交付決定</p>	<p>傷がつきにくいチタン塗装を施した monacca シリーズのWEBサイトやカタログを製作するとともに、見本市に出展し、販路開拓につなげる。</p>	<p>5,405(2,000)</p>
<p>■NO. 15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>6/27交付決定</p>	<p>担い手育成施設の整備及び研修体制の確立により、塩職人を養成していく。(製塩ハウス2棟の建設及び付帯施設の整備)</p>	<p>20,833(10,408)</p>

<p>■NO.1ユズを 中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>6/26交付決定</p>	<p>馬路村農業協同組合が生産しているぼん酢しょうゆ類等の容器をガラス瓶からペットボトルに変更するための設備整備等を行い、売上のアップを図る。</p>	<p>167,633(25,833)</p>
--	---	------------------------

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目
該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・高知銀行との勉強会における第3期産業振興計画 ver. 2及び地域アクションプランの説明(5/24)
- ・その他、管内事業者等への研修会（H A C C P研修、土佐MBA、土佐FBC等）や商談会などの開催の周知

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/25	食品加工	新商品を開発するための支援策について
2	5月上旬	機械製造業	新商品を開発するための補助事業について
3	5月中旬	機械製造業	リース会社を設立するための補助事業について
4	6/9	食品加工	新商品を開発するための支援策について
5	7/3	水産業	養殖鰻の研究のための県施設利用等支援について
6	7/31	食品加工	事業展開するための土地の確保と支援策について

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 1 9

物部川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

物部川地域においては、26 のアクションプランが推進されており、各種アドバイザーの導入のほか、助成制度の活用や研修会等への参加などにより、生産体制の充実、強化や販路拡大に向けた取り組みが着実に進められており、概ね順調に推移している。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラやシトウをはじめ、ユズやエメラルドメロンといった地域を代表する施設園芸の産地の維持やブランド化を目指し、省力化に向けた機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実、拡大に向けた多様な取り組みを引き続き推進している。

還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化に向けた取り組みでは、1月に「次世代型ハウス」が完成し、本格的な生産体制が整ったことから、還元野菜の生産量の拡大や機能性の検証等の取り組みが加速化している。

日本一のヤギミルクの産地化を目指した取り組みとしては、4月に新畜舎等の整備が完了し、飼育、生産体制が強化された。ヤギの肥育頭数も徐々に増加しており、ヤギミルクやヤギ肉の生産体制が拡充され、さらなる売り上げアップも見込まれている。

林業分野では、各森林組合や林業事業者が主体となり、森の工場の拡大に向けた事業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の促進や作業道の開設をはじめ、林業学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。

水産業分野では、香南市においてシイラを活用した加工品づくりが進められており、売り上げアップを目指して、衛生管理の向上など生産体制を強化するとともに、既存取引先との取引量拡大に向けて取り組んでいる。

商工業分野では、南国市において(株)海洋堂と連携した中心市街地活性化に取り組んでおり、その中心施設となる「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けて、基本構想の策定や商店街の活性化策の検討などが着実に進められている。また、香美市でも、中心商店街の情報発信と交流の拠点となる「ふらっと中町」を核として、チャレンジショップやイベントなど通じて商店街の活性化に向けた取り組みが展開されている。

観光分野では、物部川流域3市の観光事業者や行政関係者で組織された「物部川DMO協議会」が2年目を迎え、この6月には2名の職員を新たに雇用するなど広域観光の推進体制が強化された。現在、ウェブサイト等を通じた観光情報の発信、旅行商品の造成・販売、地域観光の推進役となる人材の育成など、交流人口の拡大に向けて地域が一体となって取り組んでいる。

また、観光施設の拠点化に向けた取り組みも、それぞれの地域で進められている。特に、龍河洞では、本年3月に、龍河洞の関係者や県、市の職員等で構成される「龍河洞まちづくり協議会」が発足し、ワークショップ等を通じて官民協働による龍河洞エリアの活性化に向けた計画づくり等に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐香美 <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>ニラ販売額: 29.7億円 < H27園芸年度: 27.1億円 ></p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>ニラ販売額: 28.4億円</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>ニラ販売額: 27.8億円 → 実績 26.9億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニラ販売額(H28.8~H29.5月): 20.9億円 (前年同期比 101%) ・ そぐり機の活用状況の報告と事例集の配布(4~6月 8地区延べ 102名) ・ 産地パワーアップ事業の変更計画に関する関係機関の協議(香美市 3回、香南市 2回) ・ 省力化に向けたそぐり機の導入(8台予定) ・ 新規就農後5年目までの農家を対象とした研修会の開催(4/21 6名) ・ 「17食博覧会・大阪」でニラ塩焼そばの販売(4/28~5/7「点天」とのコラボ) ・ 香南市農業活性化地域協議会ニラプロ部会の開催(6/12、7/10、8/16) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者の高齢化 ⇒ 新規就農者の受入体制の強化 ・ 作業労働者の確保と労働力の軽減 ⇒ 国事業を活用した調整作業機械の更なる導入
<p>■ No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 南国市 ・ J A 長岡 ・ J A 十市 	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 760t < H27園芸年度: 679t ></p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 720t</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 700t → 実績 677t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 J A 合同会議において産地ビジョン・産地目標(案)を承認(7/19) ・ 3 J A 合同巡回での出荷物の品質確認の実施(5/10) ・ I P M 技術等の推進に向けたアンケート形式による全戸実態調査の実施(長岡・南国 5/17、十市 6/29) ・ J A 長岡シシトウ部会でかん水管理について現地検討会の実施(4/20)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別巡回指導(4回)で病害虫対策にかかる指導 ・3JA合同会議で省力可能な作業等に関する協議 ・経営改善志向農家の経営安定に向けた個別面談による経営目標の策定、栽培改善策の検討(11戸)・・・経営モデル農家の育成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷量の増加及び販売額の維持 <p>⇒高収量安定生産技術の普及、労働力の確保、省力化対策</p>
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・高知大学 <p>※地域産業クラスター関連(南国市還元野菜プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>協力農家の戸数:7戸(H28~31累計)<H27:3戸></p> <p>「還元野菜」の売上:10,000千円<H27:1,200千円></p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:3品目</p> <p>(H28~31累計)<H27:0品目></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>協力農家の戸数:1戸</p> <p>「還元野菜」の売上:3,000千円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:0品目</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>協力農家の戸数:0戸 → 実績0戸</p> <p>「還元野菜」の売上:2,500千円 → 実績0円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:</p> <p>1品目 → 実績0品目</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力農家の戸数(6月末):0戸 ・還元野菜の売上(6月末):753千円 ・機能性に基づく差別化ができた品目数(6月末):0品目 ・還元野菜プロジェクト会議の開催(5/8) <ul style="list-style-type: none"> →次世代型ハウスの視察、生産状況の確認(3月からピーマン、5月からパプリカの収穫開始) →かざぐるま市での還元野菜の販売について検討 ・トリム顧客向けの還元野菜セットの販売(4~5月 251セット) ・雇用労働者数(7月末):管理者1名、作業員7名 <ul style="list-style-type: none"> →次作は、更なる増員を検討 ・パプリカのパウダー、ピューレの試作(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒人的体制とノウハウの構築 ・還元野菜の販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒直販所でのコーナー設置にかかる仕組みづくり

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒還元野菜セット販売の拡大 ⇒地元レストランへの供給
<p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・JA土佐香美 	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円<H27園芸年度:5.2億円></p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>ユズ販売額:5億円</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円 → 実績4.7億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ販売額(H29園芸年度):5.5億円(前年比117%) ・産地協議会(3回)及び委員会(6回)の開催 ・若手生産者勉強会の開催(11回) ・新規就農希望者の面談(7回 8名参加) →2名の就農前研修開始(Iターン1名、Uターン1名) ・担い手に集積可能な園地の調査、紹介(2回) ・着果安定技術マニュアルの配布(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保 ⇒市の移住窓口となっているNPOと連携した担い手の確保と大規模経営体の育成
<p>■No.6 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA長岡 ・(株)なの工房 	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所等の売上高:171,000千円<H26:171,000千円></p> <p>直販所等の雇用者数:32人<H26:32人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>直販所等の売上高:165,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:32人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>直販所等の売上高:160,000千円 → 実績144,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:31人 → 実績32人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所等の売上高(6月末):40,493千円(前年同期比101%) ・4周年記念イベントの開催(4月) ・株主総会の開催(5/25) ・ごめんの軽トラ市へ出店(5/14) ・生産者会議の開催(7/12) ・店舗の経営改善に向けた関係者間(なの市、JA長岡、南国市、県)の協議(7/20) ・商工会ビアガーデンへ出展(7/21) ・直販所活性化セミナーへの参加(8/1、全3回予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗全体の売上アップ ⇒アドバイザーの導入等による経営改善と店舗の営業戦略の確立
<p>■No.8 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・農家レストランまほろば畑 ・南国市 ・道の駅南国風良里 <p>※地域産業クラスター関連(南国市還元野菜プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円<H26:5,373千円></p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25% <H26:20.81%></p> <p>業務筋への供給:25事業体<H26:20事業体></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25%</p> <p>業務筋への供給:29事業体</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円 → 実績6,984千円</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25% → 実績21%</p> <p>業務筋への供給:25事業体 → 実績29事業体</p> <p>[取組状況]</p> <p>((株)南国スタイル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地元野菜の供給金額(6月末): 3,064千円(前年同期比180.8%) ・学校給食における地元野菜の供給割合(6月末) 37%(前年同時期18%) ・業務筋への供給(6月末):29事業体 ・学校給食配送に関する3者(南国スタイル、市学校給食課、市農林水産課)協議(6/16) ・地産地消・外商推進協議会の開催(7/24) (農家レストランまほろば畑) ・農家レストラン開店日11日(7月末): 来店者数2,096人(1日平均191人) ・まほろば畑通常総会の開催(7/18) ・高知農業高校生レストランの開催(8/8 204人) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家レストラン運営メンバーの高齢化 ⇒労働時間削減に向けた組織体制と営業方法の見直し

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 農園レストランによる地域食材の消費拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株) ナイフアンドフォークカンパニー</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:200,500千円<H26:0円></p> <p>食材の地産地消率:83%<H27:83%></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:183,500千円</p> <p>食材の地産地消率:83%</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:175,000千円 → 実績220,991千円</p> <p>食材の地産地消率:83% → 実績83%</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(H28.10~H29.6月) :124,452千円(前年同期比71.4%) ・地元食材(ヤギミルク、シャモ肉等)を活用したメニューの継続的な開発、提供 ・トリトンマルシェの開催(4月1回、5月3回) ・店舗横の良心市における南国スタイル産の野菜の継続的な販売 ・JAF会員への期間限定優待企画の実施(5/20~6/30) ・庭園にロンドンバスの設置 ・トリトン夜市の開催(7/29、8/5) ・夏休みお子様フェアの開催(7~8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の回復に向けた取り組みの強化 ⇒定期的なイベントや商品企画などの実施 ⇒マスコミや広報誌等を活用した継続的なPR活動の展開
<p>■No.10 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・協同組合やすらぎ市</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工品販売額:1億円<H26:0.96億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>加工品販売額:0.96億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>加工品販売額:0.96億円 → 実績0.96億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品販売額(6月末):2,598万円(前年同期比101%) ・生産販売計画の検討及び販売実績の分析(6/22) ・既存商品の改良及び新商品の開発、販売 (2アイテム→マーメイドメロンパン、ちぎって米粉パン) ・店舗コンセプトに沿った加工品の試作研究及び加工技術の習得に向けた講習会の開催(2回、全4回予定) ・山北みかんを活用した新たなスイーツの試作

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用した顧客への情報発信 (24回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工技術と商品開発力の向上による商品の充実 ⇒アドバイザーの活用によるノウハウと技術の習得
<p>■No. 11 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業組合ごめんシャモ研究会 ・ 南国市商工会 ・ 南国市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 65,000 千円 <H26 : 21,553 千円></p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 (市内) : 20 店舗 (累計) <H26 : 19 店舗></p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽 <H26 : 1,859 羽></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 50,000 千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 50,000 千円 → 実績 46,206 千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計) → 実績 18 店舗 (累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽 → 実績 2,761 羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 (5月末) : 9,275 千円 (前年同期比 136%) ・ ごめんケンカシャモ提供店舗数 (7月末) : 19 店舗 (累計) ・ シャモ飼育羽数 (6月末) : 583 羽 (前年同時期 435 羽) ・ 各種イベントへの出展 (5回) ・ JAF PLUS 高知版 6月号に「南国市のご当地名産品プレゼント」して掲載 ・ 総会 (5/23)、定例会 (4/10、5/7、5/16、6/20、7/18) の開催 ・ 食鳥処理施設の完成 (7/26)、落成 (7/28)、稼働開始 (8月～) ・ HACCP研修の受講 (5/18～5/19 2名、7/6～7/7 2名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャモ肉の安定的な供給 ⇒飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底 ⇒飼育技術の向上による高品質化、均等化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業(南国市)</p> <p>《事業主体》 ・川添ヤギ牧場</p>	<p>[目標(H31)] 売上高:30,200千円<H26:1,800千円></p> <p>[H29 到達目標] 売上高:9,010千円</p> <p>[H28 到達状況] 売上高:5,400千円 → 実績3,591千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(1~6月):2,384千円 ・ヤギ畜舎等の整備完了(4/10) ・飼育ヤギ頭数(7月末):130頭 ・パート雇用1名の正職員化(パート雇用は3名) ・海外出展の打ち合わせ(5~7月) ・土佐MBA(目指せ!弥太郎商人塾)の受講(7月~) ・ヤギ肉20頭分の販売が決定 ・各種メディアへの取材対応(TV、タウン誌等 随時) ・地元保育園児と子ヤギのふれあいイベントへの協力(7/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギミルクの販路の拡大 ⇒ヤギミルクの製造・販売事業者と連携した商品PRや営業活動の強化(バイヤー視察対応等)
<p>■No. 13 民有林における原木の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》 ・各森林組合 ・林業事業体等</p>	<p>[目標(H31)] 原木生産量(民有林のみ):50,000m³<H26:35,887m³></p> <p>[H29 到達目標] 原木生産量(民有林のみ):47,000m³</p> <p>[H28 到達状況] 原木生産量(民有林のみ):47,000m³ → 実績41,294m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木生産量(6月末):12,225m³(前年同期比87%) ・市町村、森林組合、事業体への林業振興関連事業の説明会の開催(1回 4/28) ・間伐事業の地元説明会(南国市黒滝地区)開催(7/24 参加者13人) → 事業実施の同意 ・香美市、南国市の広報誌に間伐PR記事の掲載(7月号) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給 ⇒安定的な事業地の確保 ⇒林業学校と連携した担い手の確保・育成と高性能林業機械の導入による生産性の向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協手結支所 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：20,000 千円 <H26：16,011 千円></p> <p>新たな魚種の取扱い尾数 (新規)：3,000 尾</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：30,000 千円 新たな魚種の取扱い尾数：300 尾</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：22,000 千円 → 実績 40,640 千円</p> <p>新たな魚種の取扱い尾数：300 尾 → 実績 0 尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シイラ加工事業の販売額 (7 月末)：12,362 千円 (前年同期比 72%) ・原魚加工量 (7 月末)：34.5 t (前年同期比 53%) ・カンパチの体長測定の実施 (5/19) ・取引先との定期的な情報交換 (週 1～2 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の向上と生産体制の強化 ⇒「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マ ニュアルの徹底と効率的な加工体制の構築
<p>■No. 16 海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市商工会 ・南国市 ・南国市中心市街地活性化推進協議会 ・(株) 海洋堂 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>空き店舗活用数：7 件 (累計) <H26：1 件 (累計) ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>空き店舗活用数：5 件 (累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>空き店舗活用数：4 件 (累計) → 実績 3 件 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市中心市街地活性化推進協議会の開催 (4/21、7/4、8/22) ・(株)海洋堂の私蔵プラモデル選別リスト化ギネスチャレンジイベントの実施 (4/29～4/30) ・「南国市ものづくりサポートセンター (仮称)」の整備に向けた関係者間 (海洋堂、市、県) の協議の実施 (5/12、6/27、7/27) ・ごめんの軽トラ市の開催 (5/14 1,500 人) ・南国市中心市街地活性化推進協議会メンバーによる関連施設 (DMM.make.akiba) 及びワンダーフェスティバルの視察 (7/29～7/30)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市ものづくりサポートセンター(仮称)の整備に向けた進捗状況の確認、検証、役割分担の徹底 ⇒海洋堂、商工会、市、県等の関係者による定例的な協議の実施
<p>■No.17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ヤ・シィ ・香南市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工所兼店舗の売上高:54,193千円<H27:0円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>加工所兼店舗の売上高:51,022千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>加工所兼店舗の売上高:47,934千円 →実績10,628千円(H28.7~H29.3月)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工所兼店舗の売上高(6月末):4,115千円 ・HACCP研修の受講(5/18~5/19 店長1名) ・高知県産品商談会へ参加(5/30) ・井筒屋の母の日特集にギフトセット(8本入り)を掲載(5/14 納品 注文1件) ・こうち生協のカタログ販売でアイスバー800本を納品(6/2 納品) ・まるごと高知商談会へ参加(6/22) ・「関西・中国・四国じゃらん」(7月号)道の駅アイスランキングに掲載 ・地元広報誌等に掲載(4回) ・まるごと高知での販売開始(7/17 68本納品) ・新メニューの開発・販売開始(7/18~ 2メニュー→アイスオレンジ、かき氷セット) ・(株)ヤ・シィ直販土産物店でアイスバー3種類の販売開始(7/17~) ・マリンフェスティバルYASUで販売(7/16) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスバーの売上アップ ⇒アドバイザーの導入による経営戦略の見直し ⇒販路の拡大に向けた商品PRや外商活動の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 香美市における特産品づくりの推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香美市観光協会 ・(協) 葦生の里 ・奥ものべじじばあんぜん会 ・コハマ農産物直販所 ・香美市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>開発商品売上高：10,000 千円 (17 商品) <H26：8,717 千円 (14 商品) ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>開発商品売上高：9,000 千円 (15 商品)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>開発商品売上高： 8,800 千円 (15 商品) → 実績 12,370 円 (15 商品)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発商品売上高 (6 月末)：1,890 千円 (前年同期比 90%) ・県 6 次産業化支援チームによる「(協) 葦生の里 (にろうまいこ)」の支援 (2 回) ・各種イベントへの出展による特産品の販売 (8 回) ・集落の活力づくり支援事業の導入による機器 (シーラー) の整備 (予定 葦生の里) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品のラインナップの充実と商品力の強化 ⇒各種の支援制度の活用による新商品づくり、既存商品のブラッシュアップ
<p>■No. 21 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・えびす街協同組合 ・地域活動団体 ・香美市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：16 件 (H28～31 累計) <H27：3 件></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：4 件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：4 件 → 実績 2 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した新規開業：4 件 ・ふらっと中町へ地域支援員 (1 名) の継続配置 ・チャレンジショップ運営員 (1 名) の継続配置 ・チャレンジショップ運営委員会開催 (4 回) ・えびす商店街活性化検討委員会開催 (4 回) ・ふらっと中町での集客イベント (お花見会、いなかみライフセミナー、オカリナコンサート等) の開催 ・ふらっと中町での「こども食堂」の開設 (8 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップのチャレンジャーの獲得 ⇒募集チラシの配布などによる PR 強化 ・「ふらっと中町」の活用方法の再検討 ⇒関係者間で協議、調整

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 ・物部川DMO協議会 ・(株)ものべみらい 	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数：144.5万人<H26：134.1万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>観光客入込数：153.7万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>観光客入込数：153.7万人 → 実績 140.2万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客入込数(1～6月)：68.6万人(前年同期比99%) ・高知中央広域観光協議会総会の開催(4/18) →H29事業計画、予算案の承認等(広域観光パンフレットの作成・配布、山陰・四国周遊スタンプラリーへの参加) ・物部川DMO協議会の職員(2名)を新たに雇用(6/22～) ・物部川DMO協議会総会の開催(6/21) →H28事業報告、決算、H29事業計画、予算案の承認等 ・高知中央広域広報パンフレット「中央高知じゃらん」の作成(9月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川DMO協議会を中心とした具体的な取り組みの実践 ⇒地域の観光資源の磨き上げ、周遊コースづくりなど旅行商品の造成、売り込み、観光人材の育成
<p>■No. 23 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)南国市観光協会 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人 <H26：53.9万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人 → 実績 53.4万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要4観光施設の観光客入込数(1～6月)：25.4万人 (前年同期比85%) ・各種イベントの開催 岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ(4/1～4/2)：8,000人 ごめんな祭(5/8)：2,300人 長宗我部フェス(5/20)：2,800人 土佐のまほろば祭り(8/5) ・南国市観光協会総会の開催(5/23) ・南国市観光案内人の会による後免エリアガイド第二期講座の実施(5回、受講者 延べ46人)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型メニューの充実 ⇒南国市クラスター連絡協議会での周遊コースの造成、旅行商品づくり
<p>■No. 24 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会 ・香南市観光クラスター協議会 ・地域の体験メニュー等提供団体 <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数:55万人<H26:51.8万人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>観光客入込数:70万人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>観光客入込数:70万人 → 実績60.6万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客入込数(1~6月):31.6万人(前年同期比106%) ・新聞バッグづくり体験の実施(4/21 香川県藤井中学校88名) ・モニターツアーの開催(7/20 参加者13名) ・歌舞伎をテーマにしたワークショップ等の開催(27回、参加者 延べ319人) ・香南市観光施設連絡会(観光クラスター協議会の位置づけ)の開催(4/26) ・クルーズ客船の高知新港寄港時に特産品販売(3回) ・各種イベントでの観光PRの展開(絵金祭り、みなこい港祭り等) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の強化 ⇒安定的な職員の確保及び専門知識やノウハウの習得 ⇒旅行業務取扱管理者の確保
<p>■No. 25 三宝山プロジェクト(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 ・民間事業者(予定) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数:20万人<H27:0人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地・建物所有者との無償貸借契約締結(H29~、5年間) ・拠点化に向けた香南市職員等によるワークショップの開催(4~6月 4回) ・庁内ワーキングメンバーによる協力予定事業者への訪問(5/30) ・運営事業者の公募に向けた関係者間の協議、調整(7月~)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営事業者の確保 <p>⇒公募にかかる県内事業者等へのPR</p>
<p>■No. 26 香美市における滞在型・体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要4観光施設の入込数:340,000人<H26:284,665人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>主要4観光施設の入込数:282,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>主要3観光施設の入込数:282,000人</p> <p>→実績262,610人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要4観光施設の入込客数(1~6月):115,665人(前年同期比117%) ・「シカニクの日べふ峡温泉スプリングフェスタ」の開催(4/29):1,094人 ・日ノ御子河川公園キャンプ場の期間限定オープン(GW、夏季限定(8/5~8/20)) ・とさてらすでの観光PRの展開(7/29~7/30) ・香美市三大祭りの開催(7/27川上様夏祭り、8/5土佐山田祭り、8/14奥物部湖湖水祭) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の強化 <p>⇒体験観光メニューの受け入れ体制づくりと情報発信の充実</p>

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■龍河洞エリア活性化推進プロジェクト《香美市》

(概要)「龍河洞まちづくり協議会」(地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成)が龍河洞エリア活性化基本計画を策定し、官民協働により実行することで、龍河洞エリアの活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・香美市行政連絡会で第3期産業振興計画 ver.2の説明(4/22、4/25)
- ・香美市商工会総会における第3期産業振興計画 ver.2の説明及び産業振興計画シンポジウム参加の呼び掛け(5/25)

- ・産業振興計画シンポジウムの開催（5/30）
- ・高知銀行との連絡会における第3期産業振興計画 ver. 2 及び地域アクションプランの説明（6/29）

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	6/6	食品加工	ワイン醸造施設整備について
2	6/13	食品加工	製塩施設整備について
3	7/4	サービス	ブライダル式場整備について
4	8/17	食品加工	乾燥野菜の販路拡大について

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香美市	素材名	龍河洞
		関連素材	周辺観光施設

現状・課題	<p><現状></p> <p>「日本三大鍾乳洞」の一つである龍河洞は、最盛期には100万人観光を誇っていたが、施設の老朽化や効率的かつ戦略的な情報発信・PRの不足等により観光客入込数は減少し、近年は10～11万人で推移している。</p> <p>平成29年3月、このような状況を打開すべく、地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等関係者が一体となり、「龍河洞まちづくり協議会」を設立。現在、官民協働により、月1～2回のペースで龍河洞エリア全体の活性化に向けたワークショップや意見交換を重ね、龍河洞エリア活性化の柱となる基本計画の策定に向けて、ターゲットやコンセプト、事業計画等について議論している。</p>
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行ニーズの変化への対応（ブームの退潮、団体旅行の減少に対応した策の打ち出しができていない） ・戦略的な情報発信が不十分（ターゲットとタイミングを捉えたPR、観光資源としての価値を訴求できていない） ・施設や商店街の老朽化、マンネリ化（にぎわいの創出、滞在環境の整備ができていない）
方今後性の	<p>エリア全体の活性化に向けて、「龍河洞まちづくり協議会」として目指すべき方向性を議論し、本年11月を目処に龍河洞エリア活性化基本計画を策定する。役割分担を明確にし、基本計画に盛り込まれた具体的な計画を実行するとともに、進捗状況について協議会で定期的に確認していく。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	龍河洞エリア活性化推進プロジェクト
	関係市町村名	香美市

概要	<p>「龍河洞まちづくり協議会」（地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成）が策定する龍河洞エリア活性化基本計画をもとに、『体制づくり』『魅力づくり』『戦略づくり』を柱に関係機関が連携して取り組みを実施することで、龍河洞エリアの活性化を図る。</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 龍河洞まちづくり協議会、（公財）龍河洞保存会、（株）ものべみらい、香美市</p> <p>【関係機関】 高知県</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	【体制づくり】					
	・「龍河洞まちづくり協議会」の確立	・「龍河洞まちづくり協議会」の確立				
	・基本計画の策定・推進	・基本計画の策定 ・計画の進め方について協議	計画の実行・進捗管理(PDCA)			
	・戦略的な施設運営を行うための体制強化		・新たな運営体制の構築			
	【魅力づくり】					
	・施設の改修及び空き店舗対策		・本洞や施設のブラッシュアップ及び改修 ・商店街の空き店舗の活用 ・街並みの再生			
	・周辺施設との連携		・物部川エリアの「アンパンマンミュージアム」「三宝山」「のいち動物公園」等との連携			
	【戦略づくり】					
	・マーケティング調査		・マーケティング調査、分析			
・広報、PR		・ターゲットとタイミングを捉えたPRの実施				
・集客イベントの開催		・既存イベントの磨き上げ ・ターゲットやシーズンに応じたイベントの開催				
指標・目標	項目	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	観光客入込数	11万人				検討中
	【設定根拠】	【推計の考え方】				
		<p>観光拠点である龍河洞の再整備を行うことで龍河洞エリアの地力を高めるとともに、エリアにある食、自然、アクティビティ等を活かした観光クラスターを形成する。また、「のいち動物公園」や「アンパンマンミュージアム」等と連携し、観光周遊コースを造成する。目標とする観光客入込数は、今年度、「龍河洞まちづくり協議会」において、基本計画を策定するなかで、設定する。</p>				

総事業費等	総事業費	千円	（うち29年度	千円）
	（内訳 国： 県： 市町村： その他：)			
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県： 高知県観光拠点等整備事業費補助金 人的支援：		
	その他：			

備考	
----	--

追加項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 龍河洞エリア活性化推進プロジェクト 《香美市》	「龍河洞まちづくり協議会」(地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成)が龍河洞エリア活性化基本計画を策定し、官民協働により実行することで、龍河洞エリアの活性化を図る。	・龍河洞まちづくり協議会 ・(公財)龍河洞保存会 ・(株)ものべみらい ・香美市	アクションプランの取組開始:H29		<ul style="list-style-type: none"> ◆「龍河洞まちづくり協議会」の確立 ◆基本計画の策定・推進 ◆戦略的な施設運営を行うための体制強化 ◆施設の改修及び空き店舗対策 ◆周辺施設との連携 ◆マーケティング調査 ◆広報、PR ◆集客イベントの開催

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	<p>龍河洞まちづくり協議会の確立</p> <p>龍河洞まちづくり協議会の確立</p>					
	<p>基本計画の策定・推進</p> <p>・基本計画の策定 ・計画の進め方について協議</p>	<p>計画の実行・進捗管理(PDCA)</p>				
		<p>戦略的な施設運営を行うための体制強化</p> <p>新たな運営体制の構築</p>				
		<p>施設の改修及び空き店舗対策</p> <p>・本洞や施設のブラッシュアップ及び改修 ・商店街の空き店舗の活用 ・街並みの再生</p>				
		<p>周辺施設との連携</p> <p>物部川エリアの「アンパンマンミュージアム」や「三宝山」「のいち動物公園」等との連携</p>				
		<p>マーケティング調査</p> <p>マーケティング調査、分析</p>				
		<p>広報・PR</p> <p>ターゲットとタイミングを捉えたPRの実施</p>				
		<p>集客イベントの開催</p> <p>・既存イベントの磨き上げ ・ターゲットやシーズンに応じたイベントの開催</p>				

高知市地域アクションプランの進捗状況等

H29.9.19
高知市地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

第3期のアクションプラン全30項目については、概ね安定的に推移している。

地域産業クラスターの取り組みでは、「竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出」について、竹材の集荷や加工・販売など竹産業を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地に竹資源を活用した事業を拡大していくクラスターの形成を目指し、竹の受入・加工体制の強化や土佐山地区の雇用創出に向けた取り組みが行われている。

農業分野では、土佐山地区のユズの搾汁残渣の有効活用や、スイーツの製造販売については、昨年度より稼働開始した施設・設備をもとに新商品の開発に取り組んでいるほか、販路開拓に向け都市圏を中心とした営業活動が本格的に始動した。また、高知県産イタダリの外商については、ブランドの確立に向け販促活動の強化及び鏡地区を中心として栽培産地の拡大に向けた取り組みが進められている。

観光・商工業分野では、大型クルーズ客船の寄港などに伴い増加する外国人観光客に対応するため、店舗向けの接客講座の開催などに取り組み、特に中心商店街における外国人観光客の受入体制の強化が図られている。

また、日曜市では新規出店基準を緩和し、農業者以外にも出店の機会を拡げたことにより、新規出店数が増加するなど、次世代の担い手を確保する取り組みが進んでいる。

高知市を核とした周遊観光を促進する取り組みについては、(株)城西館が実施している体験型旅行商品（とき恋ツアー）の一層の拡がりに向けて、県内各地の地域資源の発掘と新たな商品の開発が進んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知春野 ・ J A 高知春野キュウリ部会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷量：12,700 t <H27：10,174t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>出荷量：11,104 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>出荷量：10,330 t →実績 8,900 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>担い手の確保に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手支援打ち合わせ会（4/13、5/17、6/19） ・ 労働力確保プロジェクトチーム会（4/21、4/27） ・ 摘葉作業の建設業への委託（委託期間 5/8～6/30） ・ 研修生2名の就農準備及び新たに研修生2名を確保

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>新防除技術(天敵利用)の確立・普及に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄化えそ病対策協議会(6/5) ・土づくり勉強会(6/7) <p>生産の収量・品質向上に向けた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境制御技術導入農家の巡回指導(4/14、5/18) ・現地検討会の支援(4/20、5/20) <p>流通・販売・消費拡大に向けた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量販店での販売促進活動の実施(5/6) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地の維持拡大のための担い手確保 ⇒担い手研修生の就農に向けた受入支援の継続 ⇒建設業など農業分野以外からの労働力確保 ・高収量・高品質化のための技術導入 ⇒環境制御技術や新防除技術(天敵利用)の普及促進
<p>■No.3 生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知市 ・JA高知市長浜支所園芸部花卉部会 ・JA高知春野 ・JA高知春野花卉部会球根部会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:3.8億円<H27:3.8億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額:3.5億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額:3.8億円→実績3.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>市場ニーズに応じた生産出荷対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引市場を交えた目慣らし会の実施(4/6) <p>品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な目慣らし会の実施(7回) ・H28年度炭酸ガス施用試験結果の報告及びH29年度試験内容の検討(4/25) <p>新たな販売戦略の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書に基づくH29年度活動計画の検討(4/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者及び出荷量が減少する中での販売額の維持・拡大 ⇒市場ニーズを踏まえた品種の育成

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 新ショウガの生産振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知春野 ・ J A高知春野ショウガ部会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：8億円<H27：7.91億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：8億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：7.96億円→実績8.98億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>品質向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭酸ガス施用試験結果の掘り取り調査 (4/24) ・ ファインバブル水施用試験結果の掘り取り調査 (4/19、5/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収量・品質向上対策 <p>⇒炭酸ガス施用、ファインバブル水施用等の試験を通じた技術確立による品質向上</p>
<p>■No.8 ユズを核とした中山間農業の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A高知市 ・ J A高知市土佐山柚子生産組合 ・ 土佐山ファクトリー協同組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：1.9億円<H26：0.8億円></p> <p>未活用(廃棄)果皮：0t<H24-26平均：111t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：1.4億円</p> <p>未活用(廃棄)果皮：0t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：1.5億円→実績2億円(見込値)</p> <p>未活用(廃棄)果皮：－ →実績0t</p> <p>[取組状況]</p> <p>生産拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユズ栽培技術情報誌の作成と配布(3回、4・5・6月) ・ 定植苗木の定植指導(1回、4月) ・ 県新規就農推進事業活用による生産拡大等に向けた産地提案書の作成(4月～) <p>搾汁残渣を活用したユズ精油等の販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外都市圏の大手香料メーカーなどとの商談(約30件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路の拡大 <p>⇒首都圏・関西圏を中心とした営業活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産地の維持拡大に向けた担い手の確保 <p>⇒今期収穫期に向けて、高齢者福祉施設や企業退職者などを対象とした農業ヘルパーの募集</p> <p>⇒収穫体験などを通じた産地PR活動</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・（一財）夢産地とさやま開発公社 等</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：2.02 億円<H26：1.03 億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：1.92 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：1.49 億円→実績 1.62 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額（6月末）：36,147 千円（前年同期比 122%）</p> <p>加工品の販路拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都内でのファーマーズマーケットによる販促（14回） ・ファベックス 2017 への出展（4/12～4/14） <p>スイーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場でのスイーツ直売開始（4月） ・「さんしんGO！」による広報実施（4/30 放送） ・ひろめ市場内店舗での「高知のフード×高知のビール」イベント実施（7/18） ・オーベルジュ土佐山コフレ店での「スイーツビューッフェ」イベント実施（7/20） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>スイーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各店舗の売上の安定化及び拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集客増に向けたイベントの開催 ⇒工場作業員の人材育成等による生産性の向上 ⇒新たな加工品開発によるラインナップの充実 ⇒アドバイザーの活用等による接客スキルの向上 <p>その他加工品事業（ジンジャーエール等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒日曜市等での対面販売の強化、セット商品の販売やネット販売、ふるさと納税返礼品での展開
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・鏡村直販店組合</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：1.7 億円<H27：1.62 億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：1.66 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：1.64 億円→実績 1.52 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額（7月末）：0.54 億円（前年同期比 101%）</p> <p>消費者ニーズに対応した生産対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他産地からの農産品の出荷（1件、4月）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の栽培推進品目の組合員に向けた個別周知 ・生産者による新たな栽培品目の導入に向けた果樹試験場への視察(6月) <p>販売促進に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節イベントや商材を使った料理講習会の実施(6月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインナップの充実 ⇒他産地からの仕入協議及び新たな栽培品目の導入 ・さらなる販売額の増加 ⇒イベント等を活用したPRの強化 ⇒新たなPOSシステム導入による消費者ニーズに合わせた販売対策の実施
<p>■No.12「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知市 ・JA高知市女性部 	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所販売額：76,000千円<H27:74,609千円> 加工グループ販売額：26,000千円<H27:25,136千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>直販所販売額：75,304千円 加工グループ販売額：25,568千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>直販所販売額：74,956千円→実績82,202千円 加工グループ販売額：25,352千円→実績29,852千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>直販所販売額(6月末)：21,322千円(前年同期比108%) 加工グループ販売額(6月末)：7,745千円(前年同期比112%) 加工グループの加工品の販売拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理、商品計画の検討及び見直し(2回) <p>加工品の内容充実に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用(8月実施予定)に関する協議・各種調整(5月～) ・新メニューの試食評価会の実施(5/22) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工事業の維持拡大に向けた取り組み ⇒生産性向上に向けた人材育成

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 伝統作物の復活と関連産業の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》 ・ Team Makino</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：9,000 千円<H27：0 円> 品目数・面積：10 品目・150a (累計) <H27：0 品目・0a> 加工品数：7 品目 (累計) <H27：0 品目></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：800 千円 品目数・面積：5 品目・20a (累計) 加工品数：2 品目 (累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：700 千円→実績 336 千円 品目数・面積：2 品目・10a (累計) →実績 4 品目・9a (累計) 加工品数：2 品目 (累計) →実績 2 品目 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>品目数・面積 (6 月末)：5 品目・18a (累計) 普及啓発に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本農林水産大臣と伝統野菜生産農家等との意見交換会の開催 (5/6、「Team Makino」主催) ・出前授業等の実施 (2 校) (5/10、5/23) <p>生産拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種子保有量・作付計画の確認 (4/28、5/6) ・採取圃の設置 (5 月) ・新規栽培者の確保と栽培指導 (4/19、5/1) <p>販路拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知大丸屋上マルシェの開催に向けた打合せ (5/16) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統野菜の新規生産農家の確保及び栽培面積の拡大 ⇒集落営農組織等の生産意欲のある団体に向けた情報提供・普及活動
<p>■No. 16 森の工場の拡大による原木の増産 (高知市)</p> <p>《事業主体》 ・ 高知市森林組合</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>森の工場面積：2,000ha (累計) <H26：1,453ha> 素材生産量：4,200 m³<H26：2,660 m³></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>森の工場面積：1,900 ha (累計) 素材生産量：3,600 m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>森の工場面積：1,900ha (累計) →実績 1,853ha (累計) 素材生産量：3,200 m³→実績 3,016 m³</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>森の工場面積(6月末):2,187ha(累計) 素材生産量(6月末):516m³(前年同期比96%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、森林組合、事業体を対象とした林業振興関係事業説明会の開催(1回) ・土佐山桑尾地区が森の工場として認定(面積223ha)(5月) ・鏡横矢地区の森の工場を拡大(拡大面積111ha)(5月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験値の高い伐採作業員の減少による生産性の低下 ⇒伐採事業地を増加させることで、伐採経験機会をさらに拡大し、作業員の技術力を向上
<p>■No.18 イタドリの外商推進による中山間地域の振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県食品工業団地事業協同組合 ・連携農家 	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工品販売額:15,000千円<H28:0円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>加工品販売額:5,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>－(H29 新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <p>加工品の販路開拓・販促活動に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種展示商談会への出展 ファベックス2017(4/12~4/14) 高知県産品商談会(5/30) ・高知農業高校によるイタドリを用いたレシピの開発(5月~) <p>鏡地域における産地強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県林業試験場への視察(4/27) ・JA高知市鏡支所イタドリ部会の設置(9月予定) <p>高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月開催予定の鏡イタドリ講習会に向けて準備(7月~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の外商強化・ブランド化の推進 ⇒市場ニーズに対応した原料の確保 ⇒産地と販売者が一体となった組織の設立による事業推進体制の強化 ・高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大 ⇒栽培講習会などを通じた事業参画者の確保、産地の拡大

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 春野地区の農産物（トマト等）の付加価値向上（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（有）スタジオ・オカムラ ・連携農家 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：120,000 千円<H26：45,110 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：70,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：60,000 千円→実績 55,563 円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額（6月末見込）：14,000 千円（前年同期比 103%）</p> <p>百貨店・高質系スーパー等への外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の採用：2 件（4 月～） ・高知県産品商談会への出展（5/30） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料の供給体制の強化 <p>⇒原料調達可能な連携農家への個別協議の実施</p>
<p>■No. 20 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株）コスモ工房 ・（同）高知竹材センター <p>※地域産業クラスター関連（竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：160,000 千円<H27：90,000 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：100,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：95,000 千円→実績 79,500 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（6月末）：21,261 千円</p> <p>加工体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業用機械メーカーへ竹割り機改良の相談（4/14） ・ブラシの加工等作業員募集を土佐山地区区長会へ説明（5/15） ・原竹の買い取りルール及び単価の変更協議を実施（6/28） <p>加工製品等の販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料メーカーや農家へ竹粉や竹チップの販売（3 件） ・楽器メーカーへのマレット製造材料の一部供給（7 月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原竹の収量増 <p>⇒土佐山地域周辺の出荷者の維持・拡大及び集材エリアの拡大に向けた体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保 <p>⇒地域への呼びかけによる竹ブラシの検品・穴あけ作業等のパート・アルバイトの募集継続</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車のモデルチェンジによる竹ハンドル部材の需要量減への対応 ⇒業務用ブラシの取扱量及び生産量の拡大に向けた加工機械等の導入検討 ⇒新たな製品需要の掘り起こし及び販促活動
<p>■No. 21 防災食の開発・製造・販売（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県食品工業団地事業協同組合の企業など 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>アイテム数：10（累計）＜H26：3＞</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>アイテム数：6（累計）</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>アイテム数：5（累計）→実績3（累計）</p> <p>[取組状況]</p> <p>アイテム数（6月末）：3（累計）</p> <p>新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発中商品：2 <p>既存商品の用途拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車メーカーに対して車内保存用防災食品の提案サンプル送付（6月） <p>商談会や展示会などへの出展による販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファベックス 2017（4/12～4/14） ・高知県産品商談会（5/30） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発力の向上 <p>⇒商品開発に係る公的機関等との連携強化</p>
<p>■No. 23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市、出店者4組合ほか関係団体等 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>新規出店数：20件/年＜H26：14件＞</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>新規出店数：20件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>新規出店数：20件→実績：26件</p> <p>[取組状況]</p> <p>新規出店数（8月末）：5件</p> <p>街路市活性化に向けた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制緩和や空き小間の活用について街路市運営協議会で協議（5/29） <p>街路市のPRに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook掲載用の広告用動画制作に着手（6月）（産振総合補助金ステップアップ事業を活用） <p>街路市を活用した職場学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知商業高校生徒による日曜市販売体験実施（6/4、6/11）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規出店者のさらなる拡大 ⇒様々な機会に出店基準の緩和などをPR ・地元利用客の拡大 ⇒パンフレットやFacebook等による情報発信の強化
<p>■No. 24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)城西館等 ・高知市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：127.3万人 <H26：約93.4万人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：113.6万人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：106.8万人 →実績106.1万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>城西館による着地・体験型旅行商品「とさ恋ツアー」の実施・企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域を中心としたツアーメニューの企画(4月～) ・大手旅行会社からの要望による旅行商品の企画・提案(4月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着地・体験型旅行商品の開発による観光資源の磨き上げ ⇒集落活動センターや地域AP等を絡めた旅行商品の開発 ⇒企業旅行・サークル旅行等の誘致強化
<p>■No. 25 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市 ・(公社)高知市観光協会ほか関係団体等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人 (近年の最高来場者数の維持) <H26：1,200千人></p> <p>高知よさこい情報交流館入館者数：400千人(累計) <H25.4.27～H27.3.31：119,643人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人 高知よさこい情報交流館入館者数：290千人(累計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人→実績約1,100千人 高知よさこい情報交流館入館者数：250千人(累計) →実績228千人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>高知よさこい情報交流館入館者数(7月末見込)：243千人 よさこい発祥の地PR及び普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかよさこいの開催(5/14～)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・こうち春花まつり (5/3～5/5)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・よさこい鳴子踊りの持続・発展及び県内外でのPR ⇒2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた 全国のよさこいとの連携 ⇒踊り子の参加しやすい環境整備</p>
<p>■No. 27 浦戸湾を活用した観光の振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・土佐レジン</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数：2,000人<H26：0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数：1,400人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数：1,200人→実績 539人</p> <p>[取組状況]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数（7月末）：788人（前年同期比 335%） 利用客拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期運航の試験的実施（5月～） ・大手旅行会社とクルーズツアーの契約（5月） ・土佐の夏フェス 2017 においてワンコインクルーズを実施（7/22、7/23） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船客のさらなる増加 ⇒3隻体制における効率的なオペレーションの展開及びPRの強化 ⇒旅行会社によるクルーズツアーの商品開発の促進
<p>■No. 30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知おせっかい協会</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数：100店舗（累計） <H26：0店舗></p> <p>オセッカイストの認定者数：300人（累計）<H26：0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数：60店舗（累計） オセッカイストの認定者数：200人（累計）</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数：50店舗（累計） → 実績 40店舗（累計） オセッカイストの認定者数：150人（累計） → 実績 151人（累計）</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数（6月末）：42店舗 オセッカイストの認定者数（6月末）：160人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	中心市街地の店舗関係者を対象とした接客講座 <ul style="list-style-type: none"> ・出張型接客英会話個別講座の開催：4回 外国人観光客向けの案内標記の翻訳 <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳1件 [課題と今後の対応] <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に対する店舗の接客力向上 ⇒接客英会話個別講座の内容の充実

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化(高知市) ※ステップアップ事業 5/25 交付決定	・Facebookを活用した日曜市のPR動画の配信 (日曜市PR動画の作成・配信)	1,188 (594)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[修正] ■No.18 イタドリの外商推進による中山間地域の振興

(理由) イタドリ栽培の県域普及事業の開始時期を当初計画より早めたため、当該地域アクションプランの線表を修正する。

4 県民参画に向けた取組

- ・平成29年度第1回あじさいまつり実行委員会において、産業振興の取り組みについて説明(4/13)
- ・農林業用機械メーカーに対して産業振興の取り組みについて説明(4/14)
- ・梅ノ木ファーム総会にて、役員及び組合員に対して産業振興の取り組みについて説明(4/21)
- ・芳原まちづくり協議会に対して産業振興の取り組みについて説明(4/24)
- ・「土佐山の日」に、土佐山地区住民や関係団体に対して産業振興の取り組みについて説明(4/29)
- ・第6回長宗我部まつりにて、参加者及び関係者に対し産業振興の取り組みについて説明(5/21)
- ・JA関係者及び広告代理店に対して産業振興の取り組みについて説明(6/22)
- ・その他、訪問、来社企業等に対して第3期計画 ver. 2の説明

5 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	農業	地域団体から農業法人設立についての相談
2	5/29	商業	衣料品等の移動販売についての相談
3	5/31	商業	水産加工品の加工場の拡充についての相談
4	8/4	農業	無添加梅干しの仕入れについての相談
5	9/1	地域活動	小学校の自然学習林の清掃活動についての相談

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 イタダリの外商推進による 中山間地域の振興 《高知市》	出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタダリを県外に販売拡大していくため、イタダリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタダリ」ブランドの確立に取り組む。また、イタダリの生産力を高めるため、イタダリを「栽培」品目として位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を拡げるとともに、一次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。	・高知県食品工業 団地事業協同組合 ・連携農家	アクションプランの取組開始：H29		◆外商の推進によるブランド化の促進 ◆鏡地域全域での産地強化

修正前



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 イタダリの外商推進による 中山間地域の振興 《高知市》	出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタダリを県外に販売拡大していくため、イタダリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタダリ」ブランドの確立に取り組む。また、イタダリの生産力を高めるため、イタダリを「栽培」品目として位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を拡げるとともに、一次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。	・高知県食品工業 団地事業協同組合 ・連携農家	アクションプランの取組開始：H29		◆外商の推進によるブランド化の促進 ◆鏡地域全域での産地強化

修正後

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
	<p>外商の推進によるブランド化の促進</p> <p>・加工品の開発・販売 ・イタダリのレシピ提案と普及</p> <p>商談会等への出展・PR</p>					加工品販売額 (H28:0千円)	15,000千円
	<p>鏡地域全域での産地強化</p> <p>耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大</p> <p>地域を巻き込んだ栽培体制の構築</p> <p>鏡地域における加工・保存体制の強化</p> <p>鏡地域をモデルとし、イタダリの産地化を県内各地に展開</p>						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
	<p>外商の推進によるブランド化の促進</p> <p>・加工品の開発・販売 ・イタダリのレシピ提案と普及</p> <p>商談会等への出展・PR</p>					加工品販売額 (H28:0千円)	15,000千円
	<p>鏡地域全域での産地強化</p> <p>耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大</p> <p>地域を巻き込んだ栽培体制の構築</p> <p>鏡地域における加工・保存体制の強化</p> <p>鏡地域をモデルとし、イタダリの産地化を県内各地に展開</p>						

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H29.9.19
嶺北地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域アクションプラン（23項目）については、嶺北4町村において相互に関連する取り組みや、4町村全てに関わる取り組みが多いことから、常に連携を図りつつ、各町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

また、地域アクションプランの取り組みと連携させた畜産と林業の2つの地域産業クラスターの形成を、地域への波及効果を生み出すべく進めている。

農業分野では、3町が中山間農業複合経営拠点の整備に取り組むなか、JA出資型法人（(株)れいほく未来）においては、研修生の受け入れが新規就農につながってきている。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭対策や自給飼料の確保に取り組むとともに、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図っている。また、土佐はちきん地鶏の付加価値を向上させるため、HACCP対応の食鳥処理・加工施設を整備し、試験運転を始めた。11月からは本格稼働する予定であり、これを生かした首都圏等での営業活動に取り組んでいる。

林業分野では、原木増産に向けた重点森林組合への支援に取り組むほか、集落活動センターにおける担い手の育成や3年目となるスギのコンテナ苗の栽培の取り組みなどを進めている。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取り組みや、山岳観光プログラムの磨き上げのほか、さめうら荘建設に向けた協議を進めている。あわせて、これらの取り組みを広域で展開していくため、広域観光組織の機能強化に向けた取り組みや、広域での民泊受入及び観光周遊ルートづくりを開始している。

また、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりを進め、嶺北高校の魅力向上も含めた地域の活性化や合宿誘致など交流人口の拡大につながる環境整備に着手している。

そのほか、地域の自主的な取り組みを後押しするためのクラウドファンディングの活用や、移住対策における情報発信やネットワーク化、「ONEれいほく」による学生・若者と地域を結ぶ仕組みづくりなどを、さらなる移住者の増加や地域の若者定着につなげるべく取り組みを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・JA土佐れいほく <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラス</p>	<p>[目標（H31）]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：12人（H28～31累計）＜H24～27累計：8人＞</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高 ：50,000千円＜H26：23,670千円＞</p> <p>米粉等の販売額：1.1億円＜H26：1.04億円＞</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3人 農業経営事業（園芸）売上高：37,300千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>ターによる地域の活性化)</p>	<p>米粉等の販売額：1.1億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：3人 → 実績2人</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高（1～12月） ：38,500千円 → 実績35,409千円</p> <p>米粉等の販売額：1.1億円 → 実績1.1億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修による新規就農者数（雇用者数含む）：2人 ・農業経営事業（園芸）売上高（1～6月）：6,403千円 (前年同期比105%) ・米粉等の販売額（6月末）：23,064千円（前年同期比90%） ・農業経営事業（園芸）の打合会：3回 ・インターンシップ事業実施：1回・4人参加 ・栽培講習会への参加：7回 ・大阪における米粉製品の試食会開催：1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の募集、受入、育成 ⇒農業に意欲のある研修生の確保・指導・育成及び 独立就農や雇用就農につなげるための就農支援 ・栽培技術の習得 ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の 向上（彩どりピーマン、米ナス等）及び冬作（スナッ プエンドウ）の定着に向けた検討 ・経営の安定・強化 ⇒経営計画に沿った生産販売活動への支援 ・米粉の新商品生産のための原料米の確保 ⇒原料米の確保に向けた検討
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による 肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊 町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・肉用牛生産組合 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>土佐あかうしの販売額：3.0億円<H26：1.5億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2.8億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2.8億円 → 実績2.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐あかうしの販売額（6月末）：0.56億円 (前年同期比119%) ・れいほく未来飼養頭数：202頭 (繁殖雌牛111頭、肥育45頭、子牛46頭) ・産振総合補助金活用による堆肥舎の完成（7月）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタル畜舎整備事業：本山町1戸 ・第1回れいほく未来畜産に関する連絡会(5月) ・飼料用とうもろこしの播種(5月)：1.3町 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭 <ul style="list-style-type: none"> ⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業(受精卵移植、キャトルステーション飼育)の継続実施 ・飼育担当者の飼養管理技術の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒OJTの徹底 ・れいほく未来の水不足 <ul style="list-style-type: none"> ⇒汲み上げポンプ整備(高知県複合経営拠点支援事業) ・堆肥の活用先の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒堆肥の活用に向けた企業との連携(農商工連携事業)
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額：54,900千円<H26：34,000千円> 出荷羽数：12.5万羽<H26：5.2万羽></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>黒牛の販売額：50,000千円 出荷羽数：8.0万羽</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>黒牛の販売額：40,000千円 → 実績 58,998千円 出荷羽数：8.0万羽 → 実績 6.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒牛の販売額(6月末)：14,051千円(前年同期比69%) ・出荷羽数(6月末)：1.9万羽(前年同期比118%) ・大川村PT全体会の開催：1回(6月) 大川村PT産業振興部会の開催：1回(7月) 大川村PT販売に関する協議：1回(5月) ・第2回大川村議会維持対策検討会議での協議(7月) ・高知県産品商談会への参加：5件商談(うち2件成約) ・産振総合補助金活用による食鳥処理・加工施設の完成(8/9落成) ・新規取引先：17件(取引先数(累計)：138件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛の増頭 <ul style="list-style-type: none"> ⇒一貫生産体制における繁殖成績のさらなる向上 ・はちきん地鶏のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒完成した施設での確実な食鳥処理及び加工品の生産 ⇒首都圏等における営業活動の強化 (営業担当人材の増強と外商会社との連携)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒アドバイザーの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県版 HACCP 認証取得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒技術研修や資料作成等、HACCP 申請に向けた準備 収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒床暖房の効果による冬場の育成率、出荷平均体重の改善
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林所有者 自伐林家 森林組合 素材生産事業体 高知おおとよ製材(株) 嶺北広域原木安定供給協議会 大豊町 本山町 土佐町 大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>素材生産量: 130,000 m³ < H26: 98,515 m³ ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>素材生産量: 120,000 m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>素材生産量: 110,000 m³ → 実績 107,604 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 素材生産量(6月末): 28,536 m³ (前年同期比 112%) 木材増産推進プロジェクトチーム会: 1回 森林組合支援ワーキング: 2回 森林組合支援チーム会 <ul style="list-style-type: none"> : 大川村 4回、大豊町 2回 計 6回 素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計 12 事業体) 間伐関係補助事業の周知 ストックヤード造成工事(H28.4月着手、進入道完成、造成作業/進捗率は6月末現在で全体の24%) 原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発 嶺北広域原木安定供給協議会: 1回(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬出間伐の生産性向上 皆伐事業地の拡大に伴う再生林の推進 林業事業体の体質強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐) 林業従事者及び担い手の育成確保 原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ⇒嶺北広域原木安定供給協議会の取り組み 必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン) ・本山町 ・土佐町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>木材の出荷量: 2,000 m³<H28: 744 m³></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>木材の出荷量: 1,200 m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>木材の出荷量: 1,200 m³ → 実績 585 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築棟数(6月末): 17棟(427 m³)(前年同期比 347%) (前年同期: 5棟(123 m³)) ・四国内での販売計画の検討 ・かがわ家博出展(8/19~8/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北材の販路拡大 ⇒香川県を中心とした営業活動の展開 ウッドフェスティバル(10月)出展検討中 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化
<p>■No.10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者 ・(一財)本山町農業公社 ・土佐町森林組合 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売数量: 2,500kg<H26: 2,350kg></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売数量: 2,500kg</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売数量: 2,500 kg → 実績 1,054 kg</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の実態把握、生産増加のための訪問: 2回 ・本山町農業公社との打合せ: 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量の増加 ⇒栽培放棄地の生産委託の拡充 農業公社等による集出荷の検討 ・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催
<p>■No.11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしはらの里協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者: 60人(H28~31累計)<H27: 0人> 研修者の宿泊日数: 360泊(H28~31累計)<H27: 0泊></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>林業研修者: 33人 研修者の宿泊日数: 79泊</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・土佐町</p> <p>・民間事業者((株)FPI)等</p> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>林業研修者:5人 → 実績9人</p> <p>研修者の宿泊日数:30泊 → 実績31泊</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度研修プログラムの検討:2回 研修日程及び内容の決定(5月) 研修者募集開始(6月) ・参加者募集のチラシ作成、広報(6月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修者の確保 ⇒民間事業者(FPI)、移住支援団体等との連携による広報の強化
<p>■No.12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:85,200千円<H27:0円></p> <p>ポータルサイト年間売上高:1,200千円<H26:564千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:16,000千円</p> <p>ポータルサイト年間売上高:700千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:16,000千円 → 実績6,402千円</p> <p>ポータルサイト年間売上高:700千円 → 実績361千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外飲食店等との直接取引による販売額(6月末):905千円(前年同期比115%) ・ポータルサイト売上高(6月末):62千円(前年同期比40%) ・受発注管理システムを活用した地産外商の実施 ・商談会(関西居酒屋産業展)への参加(5月) ・直接取引飲食店等(6月末):21件 ・直接取引関係生産者等(6月末):22件 ・新たな農産物(イタドリ)導入に向けた現地視察(6月、9月予定) ・ホームページへのアクセス数(6月末):1,018件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、生産事業者等への呼びかけ、新たな農産物導入に向けた生産地視察等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト年間売上高の増加 ⇒ポータルサイトのリニューアルの検討
<p>■No. 13 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会 ・商工会 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>調達額：15,000千円(H28～31累計) <H27：0円> 嶺北地域のプロジェクト数：5件<H27：0件></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>調達額：2,100千円 嶺北地域のプロジェクト数：3件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>調達額：5,000千円 → 実績1,499千円 嶺北地域のプロジェクト数：2件 → 実績2件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブオーナー（嶺北地域）連携会議：2回 新規プロジェクト案とサポート体制の共有 FAAVO 高知運営体制の見直し検討 ・嶺北地域のプロジェクト数：1件 PT① 大豊町怒田集落の集会所（7/6～9/3）募集中 調達額：644千円、支持者：43人（8/16現在） ※その他 嶺北地域外のPT：1件 ・FAAVO 高知の説明会&ブラッシュアップ会（8/13） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会等の開催 ・効率的な運営体制の確立 ⇒地域オーナーとサブオーナーの役割の明確化を協議
<p>■No. 14 ばうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（本山町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばうむ合同会社 ・本山町 <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>木工製品全般の売上高：89,000千円<H26：33,000千円> 焼酎の販売額：19,590千円<H26：4,655千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高：79,000千円 焼酎の販売額：11,700千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>木工製品全般の売上高：74,000千円 → 実績27,972千円 焼酎の販売額：7,750千円 → 実績8,067千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工製品全般の売上高（6月末）：7,728千円 (前年同期比189%) ・焼酎の販売額（6月末）：1,697千円（前年同期比118%）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大・販売促進活動 取引先累計(6月末):171件 ・販促E X P O(東京)への出展(7月) ・派遣職員の受入(6月末):1名 ・インターンの受入(6月末):3名 <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展(6月末):8回 ・商談会、フェアへの出展(6月末):1回 ・販路拡大・販売促進活動 新規取引先(6月末):1店舗 取引先累計(6月末):219店舗 販売本数(6月末):1,154本(前年同期比97%) ・泡盛の新商品開発に着手(4月) ・城西館ツアーとの連携による出展等の開始(6月) ・シンガポールの飲食店での日本食フェアへの出品 (10月予定) ・マスメディアでの紹介:2回(4月、7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ⇒商談会やイベント出展への参加増加 海外へのアプローチ 商品開発
<p>■No.15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.6億円<H26:0.1億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.18億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額(1~12月) :0.2億円 → 実績0.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碁石茶関連商品の総販売額(1~6月末) :0.15億円(前年同期比52%) ・販促活動:6回(延べ17日) ・碁石茶親衛隊の募集と生産活動実施(5名) (募集:5/24~、実施:6/13~8/20) ・地域おこし協力隊の導入(4月、1名) ・新たに整備した碁石茶製造施設での生産の開始 ・新たな営業職員を雇用(4月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規生産者の育成・確保 ⇒担い手確保や支援体制の構築に向けた検討 ・販路の維持・拡大 ⇒機能性表示申請に向けた手続きの開始
<p>■No. 16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうらこむ ・犬小屋製作工房 K ・土佐地区商工会 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>注文数: 750件<H27: 500件> [犬小屋製作工房 K] 従業者数: 6人<H27: 4人> [さめうらこむ]</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>注文数: 600件 [犬小屋製作工房 K] 従業者数: 5人 [さめうらこむ]</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>注文数: 500件 → 実績 553件 [犬小屋製作工房 K] 従業者数: 4人 → 実績 5人 [さめうらこむ]</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文数(6月末): 159件(前年同期比 117%) [犬小屋製作工房 K] ・従業者数(6月末): 5人 [さめうらこむ] [犬小屋製作工房 K] ・新工場予定地の農地転用等の手続き継続 ・オンライン及び紙面での商品 PR・販売 [さめうらこむ] ・オンラインでの商品 PR・販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な製造ライン確保のための新工場整備 ⇒建設規模等の検討 [さめうらこむ] ・生産拡大に必要な人材育成 ⇒製品のクオリティを維持・向上できる職人の確保
<p>■No. 17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域観光・交流推進協議会 ・本山町 ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数: 12,400人 <H26: 11,461人></p> <p>民泊受入世帯数: 120世帯<H26: 49世帯></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数: 16,000人 民泊受入世帯数: 90世帯</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・土佐町 ・大川村</p> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数 : 11,800 人 → 実績 15,947 人</p> <p>民泊受入世帯数: 75 世帯 → 実績 82 世帯</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共関連宿泊施設での宿泊者数(6月末): 3,651 人 (前年同期比 126%) ・民泊受入世帯数(6月末): 84 世帯 ・嶺北地域民泊推進協議会連合会の設立(4月) ・広域観光の専門アドバイザーとの協議(4月) 産業振興アドバイザー依頼(6月) 早明浦湖水祭シンポジウムでの講演、パネルディスカッションを通じた課題提起(8月) ・嶺北地域・観光交流推進協議会担当者会の開催(5月) ・嶺北地域・観光交流推進協議会総会の開催(6月) ・城西館との連携による大手旅行会社ツアー受入れ(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化 ⇒観光・交流ビジョンの策定 ・嶺北地域らしい旅行商品の造成 ⇒高知市の旅行業者が実施するツアーの活用 ⇒エリア内モニターツアーの実施 ⇒簡易マーケティングの実施 ・情報発信の一元化 ⇒嶺北広域観光パンフレットの改訂 ⇒ホームページ作成に向けた検討
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数: 50,000 人 <H27: 0 人> 白髪山・工石山への観光客数 : 200 人(H28~31 累計) <H24~26 累計: 58 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数: - 白髪山・工石山への観光客数: 10 人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数: - 白髪山・工石山への観光客数 : 10 人 → 実績 13 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白髪山・工石山への観光客数(7月末): 21 人 (前年同期 0 人)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会：1回 ・嶺北地域4町村観光担当課長会：1回 ・県の観光拠点等整備事業費補助金（H28からの繰越） 本山町アウトドアの里拠点施設整備事業の実施設計委託（2～8月） ・インストラクターやガイド研修による地域事業者の育成及び受入体制の充実：13回 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 総会（5月） ・「さんしんGO」での白髪山登山の広報（5月） ・白髪山の林業遺産認定（5月）→高知新聞掲載（5月） ・奥工石山「紅簾石」の県天然記念物指定（6月） ・高知城歴史博物館、木材普及推進協会との「散策会～白髪山を歩く～」の共催（7月） ・本山・嶺北地域のスポーツツーリズム・アウトドアによる地域振興シンポジウムの開催（7月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアの里拠点施設建設の早期着手 ⇒施設運営に関する計画の磨き上げや関係者間の連絡調整・情報共有 ・嶺北広域での事業展開 ⇒交付金を活用した広域連携事業の実施 ⇒広域観光組織の機能強化 ・天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成 ⇒アウトドア拠点施設整備の取り組みと連動して実施
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・（一社）大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 	<p>[目標（H31）]</p> <p>白滝の里施設利用者数：15,000人＜H26：6,175人＞</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数：11,470人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>白滝の里施設利用者数 ：10,000人 → 実績 10,790人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白滝の里施設利用者数（6月末）：2,131人 ・登山ツアー（親子向けプログラム）の実施：1回 ・石鎚山系連携事業協議会設立総会：1回 ・石鎚山系連携事業協議会：1回 ・石鎚山系連携事業協議会分科会（登山）：2回 ・大川村PT全体会の開催：1回 ・大川村観光・交流部会の開催：1回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規プログラムの開発及び既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新規プログラムの開発及び実施 ⇒石鎚山系連携事業協議会との連携、情報収集 ・人材の育成・確保(プロジェクトリーダー等) <ul style="list-style-type: none"> ⇒専門研修やOJT研修の実施
<p>■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.5万人 <H26:2万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.3万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 :2.1万人 → 実績2.3万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうら荘利用者数(6月末):0.6万人 (前年同期比107%) ・イベント参加者数:延べ約105名 スポーツフィッシング大会等:3回 ・さめうら荘建設に係るワーキンググループ:1回 ・さめうら湖利用計画及び早明浦ダム湖面利用規則の改正 (5月) ・カヌーのまち嶺北推進協議会の設立(5月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して利用者が訪れる取り組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒カヌー練習環境の整備と合宿等の誘致 ⇒湖面・湖畔アクティビティの観光商品化の検討 ・さめうら荘建設に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒実施設計の完了と建設の早期着手
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>移住者数 :280人(H28~31累計)<H24~26累計:214人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>移住者数:80人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>移住者数:100人 → 実績101人(66件)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者数(6月末):33人(29件)(前年同期比110%) ・移住促進連絡会の開催:3回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談受付件数(6月末):120件 ・空き家調査件数(6月末):18件 ・お山のでづくり市の開催:1回 ・県外の移住相談会への参加:2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR、情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒プロブローガーやNPO法人ONE れいほくとの連携 ⇒土佐町Webサイト「とさちょうものがたり」における地域情報の発信(RINが運営を受託) ・空き家の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒町村営住宅等の整備及び空き家改修補助金の活用促進 ・移住相談等増加への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒町独自の移住イベントの開催や、CCRC、教育魅力化、起業支援(チャレンジショップ等)など、新たな人の流れの構築 ・大川村における移住支援体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集落活動センター結いの里の機能拡充
<p>■No.22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONE れいほく」の構築(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ONE れいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>プロジェクト数:7件<H27:0件></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>プロジェクト数:5件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>プロジェクト数:4件 → 実績6件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト数(6月末):4件 <ul style="list-style-type: none"> 大豊町「農業インターンシップ事業委託」 大豊町「特産品販売促進戦略事業委託」 オーシャンリース(株)「FAVVO 高知運営業務委託」 自主事業「若者のキャリア形成事業(インターンシップ)」 ・3つの拠点への訪問者(6月末):延べ380人 ・マスメディア等での活動紹介(6月末):7回 ・ONE れいほくの関与による嶺北への移住(6月末): 4人(4件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報発信や人材の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域活性化に資するオリジナルプロジェクトの企画・実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産本数:2万本<H27:1,920本></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生産本数:2万本</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>生産本数:2万本 → 実績1.7万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種:800g(4月、6月) ・コンテナへの移植:2.0万本(6月、7月) ・栽培管理に関する勉強会:1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の効率化 ⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討 (土と肥料の混ぜ合わせ及びコンテナに入った土を圧縮し穴をあける機械) ・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 ⇒勉強会等による栽培管理技術の習得 ・継続的な販売先の確保 ⇒森林組合等事業者との協議の継続

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・土佐町森林組合理事会での第3期計画 ver.2の説明(4/14)
- ・土佐町地区長会での第3期計画 ver.2の説明(4/20)
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画 ver.2の説明(4/27)
- ・大豊町区長会での第3期計画 ver.2の説明(4/27)
- ・地域版(嶺北地域)商人塾(5/17)の参加案内(地域内事業者、商工会等)
- ・本山町商工会総会での第3期計画 ver.2の説明(5/19)
- ・土佐地区商工会総会での第3期計画 ver.2の説明(5/23)
- ・大豊町商工会総会での第3期計画 ver.2の説明(5/26)
- ・高知銀行との勉強会における地域アクションプラン進捗状況等の説明(6/28)
- ・本山町政経懇話会における第3期計画 ver.2及び地域アクションプラン進捗状況等の説明(7/18)

5 相談案件： 0件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
			該当なし

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H29.9.19
仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全37のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して平成26年11月にリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、平成28年度に産振総合補助金の活用により(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、今後はさらに衛生管理の高度化や販路拡大に取り組むこととしている。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用した新工場整備に着手するとともに、関連企業・団体と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

林業分野では、平成28年4月に完成した大型製材工場の継続的な稼働率向上を図り、製品流通の拡大に取り組むとともに、原木増産と安定確保に向け管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図ることとしている。

水産分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、今後はさらなる販路拡大に取り組むこととしており、さらには水産クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

また、観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の地域会場である紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）への更なる集客に向けて、「観光クラスター整備計画」に基づく周遊促進の取り組みや観光情報の発信をこれまで以上に幅広く、またきめ細かに実践し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 70ha<H27:55ha></p> <p>サンショウ : 80ha<H27:73ha></p> <p>ダイダイ : 30ha<H27:28ha></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H29 到達目標]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p> ミシマサイコ : 56ha</p> <p> サンショウ : 70ha</p> <p> ダイダイ : 30ha</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p> ミシマサイコ : 56ha → 実績 55ha</p> <p> サンショウ : 70ha → 実績 69ha</p> <p> ダイダイ : 30ha → 実績 28ha</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐) ミシマサイコ (7月末) : 49ha サンショウ (7月末) : 65 ha ダイダイ (7月末) : 27 ha ・地域おこし協力隊2名による栽培支援 (4月～) ・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査 (6回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置 (5/23) 及び試験処理 (7/3、7/26、8月予定) ・ヒューマンライフ土佐総会 (6/1) ・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)を配置 (9月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した、2年株専用品種の栽培技術確立のための支援
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)前川博之商店 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 200,000 千円 <H26 : 40,946 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円 → 実績 41,661 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生姜加工品の販売額 (H28.10～H29.6月) : 38,164 千円 (前年同期比 123.3 %) ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議 : 5回 ・HACCP 研修への参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ビジネスまるごと応援事業を活用し、パッケージ等の改良に向けた協議(生姜加工商品) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討
<p>■NO.8 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村青果(株) <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額:4.0億円<H26:3.4億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額:4億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.45億円 → 実績5.31億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額(H28.10~H29.6月):3.86億円 (前年同期比93%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内取引農家との打合せ:12回 ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高(H28.10~H29.6月):126t(前年同期比147%) ・いの町農業クラスタープラン検討会(7/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続
<p>■No.9 本川きじの販路拡大(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:13,580千円<H26:4,913千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>販売額:11,800千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>販売額:11,800千円 → 実績14,692千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額(7月末):4,337千円(前年同期比102.3%)</p> <p>◇経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央会(中小企業団体)のアドバイザー制度を使い、専門家を含めた経営計画策定のWGを実施(6/7、7/20) <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで「きじコロッケ」の一般販売開始(4月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会への参加 (5/30) ・新たな通信販売会社との商談がまとまり、きじ肉の取り扱いを開始 ・県外バイヤーの視察対応 ・ドラゴン広場内フランス料理店との商談実施 (5/18) ・中央西福祉保健所による HACCP の現地確認指導実施 (5/9、7/20) <p>◇広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内 PR イベントへの参加：6 回 ・高知食 1 グランプリへの参加：9 位/46 品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の検討 ⇒専門家を含むワーキンググループによる経営計画の策定 ⇒利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ・県版 HACCP 第 2 ステージの取得 ⇒県版 HACCP 第 2 ステージ申請に係る加工場等の現地確認 (5/9、7/20) 後の改善対応に伴う支援 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ・本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化
<p>■NO. 11 日高村まるごとブランド化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・J A コスモス ・(株) コスモスアグリサポート ・(株) イチネンホールディングス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株) 村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連 (日高村トマト産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>農産物等の販売額：4.5 億円<H26：4.3 億円></p> <p>「オムライス街道」によるオムライス販売数：100,000 食 <H27：66,200 食></p> <p>商品・加工品開発件数：10 件 (H28～31 累計) <H27：0 件></p> <p>県外からの移住者数：10 組 (H28～31 累計) <H27：2 組></p> <p>新規就農者数：4 名 (H28～31 累計) <H27：2 名></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>農産物等の販売額：4.3 億円</p> <p>「オムライス街道」によるオムライス販売数：67,000 食</p> <p>商品・加工品開発件数：7 件 (H28～29 累計)</p> <p>県外からの移住者数：4 組 (H28～29 累計)</p> <p>新規就農者数：9 名 (H28～29 累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>農産物等の販売額：4.3 億円 → 実績 4.3 億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>農産物等の販売額(6月末): 170,671千円 (前年同期比 100.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オムライス街道」によるオムライス販売数(5月末): 13,583食(前年同期比 121.3%) ・商品・加工品開発件数(H28~H29.7月累計): 5件 ・県外からの移住者数(H28~H29.7月累計): 5組 ・新規就農者数(H28~H29.7月累計): 8名 ・第1回日高村農業クラスタープロジェクト会(5/31) ・日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進 ・オムライス街道スタンプラリー第4弾キックオフイベント・スタート(6/12) ・長谷川アドバイザー(一般社団法人食品需給研究センター食品産業クラスターチームリーダー)との日高まるごとイタリアンプロジェクトの全体構想に関する打ち合わせ(7/14、15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村アグリネットワークの連携強化 ⇒日高村アグリネットワーク会議の開催 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップ ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ⇒日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進による新たな商品や加工品の開発 ・雇用及び移住者の増 ⇒企業の新規参入による雇用増と『いきつけ田舎』(一時滞在住宅を整備)の取り組みによる移住促進
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業者 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>原木生産量: 12.0万m³<H26:8.0万m³> 製材工場原木利用量: 5.0万m³<H26:1.7万m³></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>原木生産量: 10.0万m³ 製材工場原木利用量: 3.0万m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>原木生産量: 9.0万m³ → 実績 9.0万m³ 製材工場原木利用量: 2.3万m³ → 実績 1.7万m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>原木生産量(6月末): 2.0万m³(前年同期比 102%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>製材工場原木利用量(6月末):0.6万m³(前年同期比174%)</p> <p>◇施業地の集約化及び原木生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業体等林業関係担当事者の開催(5/19) ・増産に向けた事業体への聞き取り調査(11事業体) ・仁淀川町森林管理推進協議会第1回協議(7/13) ・森林資源情報の把握をする3Dレーザー計測機の現地研修(8/3) ・中央西地区路網整備促進会議設立(6/26)及び各市町村での路網整備ワーキンググループ開催(いの町吾北1回、いの町本川1回、越知町・佐川町合同2回、仁淀川町1回) ・森林経営計画及び森の工場作成支援(越知町及び2事業体) <p>◇林業事業体、人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導(高知中央森組5回、仁淀川森組4回) ・森林組合の作業システム改善指導(現地調査 高知中央森組1回、高性能林業機械視察1回(両森組参加)、搬出技術研修1回(両森組参加)) ・増産に向けた技術指導(2森組、8事業体) <p>◇大型製材工場の稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型製材工場の進捗管理及び指導(6回) <p>◇川上・川下の需給調整体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川流域森林管理システム(国のモデル事業に採択)の構築に向け、事業計画の策定を支援(仁淀川町2回) ・仁淀川流域森林管理システムの計画・管理を行う仁淀川町、越知町、佐川町3町による「高吾北地域原木安定供給協議会」設立の打合せ(9月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施 ・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担う組織(仮称:森林管理センター)の構築と人材の確保 ⇒仁淀川森林管理推進協議会との連携による組織づくり、人材育成、森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》 ・特用林産物生産団体</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：21.0 t <H27:19.0t> マッシュルーム出荷量：22.0 t <H26:14.3t> 原木まいたけ生産量：0.6 t <H27:0.1t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：19.5 t マッシュルーム出荷量：14.0t 原木まいたけ生産量：0.26 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：1t → 0t (H29 より支援地区変更) マッシュルーム出荷量：14.0t → 11.7t 原木まいたけ生産量：0.26 t → 0.1t</p> <p>[取組状況]</p> <p>マッシュルーム出荷量 (6月末)：3.8t (前年同期比 141%) <シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導に係る情報収集 (仁淀川町 3 回) ・生産者への現地指導 (土佐市 3 件、いの町 4 件、仁淀川町 16 件) <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルーム害虫防除指導 (6 回) ・新たなきのこ品種 (原木きくらげ) 栽培指導 (生産組合 3 回、木こり屋他 3 回) <p><原木まいたけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター打合せ協議 (7 回) ・原木まいたけ等栽培指導 (5 回) ・先進地視察 (大分県・熊本県 6/13～15) ・イベントでの普及啓発 (氷室まつり 7/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化 <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上 ・新たな原木きくらげの安定生産 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続 <p><原木まいたけ等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 品目 (マイタケ、キクラゲ、ムキタケ、ハタケシメジ、ナメコ) の複合栽培による安定的な収益の確保 ・集荷、出荷体制の整備 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・自伐型林業に取組む個人・団体 <p>※地域産業クラスター関連(佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業関連新規就業者数: 24人(H28~31累計) <H27: 5人></p> <p>山林の集約化面積: 400ha(H28~31累計) <H27: 0ha></p> <p>ものづくりと連携した起業家: 3人(H28~31累計) <H27: 0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人</p> <p>山林の集約化面積: 200ha</p> <p>ものづくりと連携した起業家: -</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>林業関連新規就業者数: 6人 → 実績 6人</p> <p>山林の集約化面積: 100ha → 実績 約90ha</p> <p>ものづくりと連携した起業家: -</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊採用 7人(4月、自伐4人 ラボ3人) ・「チームさかわ農林業の会社の設立検討会」の開催: 2回(4/27、6/26) ・町民向けの自伐型林業研修会の開催(9/2~9/3 予定) ・山林の集約化に向けて尾川地区でアンケートを実施(8/3) ・さかわ発明ラボの事務所移転によりラボ機能を集約整備、オープニングイベント(4/28、4/29)、ワークショップ(毎週土日: 機材講習、データ作成講習)、放課後発明クラブ(6月から毎週木曜日: 子供工作教室)を開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進 ・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化、法人設立に向けた検討 ・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒運営体制構築の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 <p>※地域産業クラスター関連(中央地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額:100,000千円<H26:61,550千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額:100,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>うるめ商品の販売額:78,597千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>うるめ商品の販売額(6月末):21,988千円 (前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本釣りうるめ祭りの開催(5/14~5/31):18店舗参加 ・イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店10店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限12月末) ・売上向上に向けた協議:2回 ・商談会、イベントへの出展:2回 <ul style="list-style-type: none"> ➢商談件数:10件 ➢新規取引先数:3件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 ・販路拡大及び販売促進 ⇒県版HACCP第2ステージ認証のH29年度中の取得に向け、社内にHACCPチームを編成し取り組みを推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催 ・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種の一次加工処理及び加工品開発による売上確保
<p>■No. 17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承(土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館 	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額:4.8億円(機械すき4.4億円、手すき0.4億円)</p> <p><H26:4.8億円(機械すき4.4億円、手すき0.4億円)></p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体:31事業体</p> <p><H27:31事業体></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額:4.8億円 (機械すき4.4億円、手すき0.4億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体:30事業体</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達状況]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8億円 → 実績5.0億円 (機械すき4.4億円 → 実績4.6億円、 手すき0.4億円 → 実績0.4億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体：30事業体 → 実績20事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Kami 祭実行委員会 (いの通信局チーム会) の開催：2回 ・土佐和紙関係者意見交換会の開催 (いの町産業経済課、紙の博物館、土佐市未来づくり課、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部)：1回 ・紙の博物館内における体験メニューの提供 (5/3～5/5、リングノートのみ5/4～5/5) 利用者数：ちぎり絵83人、版画41人、和紙缶バッチ48人、貼り絵41人、折り紙78人、リングノート30人 ・土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口(紙の博物館内)の対応：3件 ・紙の博物館 売店がクレジットカードに対応 (4月～) ・紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具(箕、桁)の状況確認 (7/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり ⇒高知国際版画トリエンナーレ展(10～12月開催)のPR ・紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒専門的知識を持つ者による状態確認及び道具の保管台帳の作成、修繕対応可能な道具職人の有無についての確認
<p>■No. 19 いの町中心市街地の活性化(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町 ・いの町商工会 <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業 ：8事業所 (H28～31 累計) <H26：2事業者></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2事業所</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2事業所 → 実績0事業所</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業(8月末):2事業所 (雑貨屋、ラーメン屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの通信局主催のイベント等協議:2回(4/21、6/2) ・いの町議会建設産経常任委員会へ中心市街地活性化構想案報告(4/21) ・高知県手すき和紙協同組合と手すき和紙職人へ中心市街地活性化構想案説明(4/21) ・金融機関を交えて中心市街地活性化構想案を協議(5/8、6/1) ・中心市街地活性化構想案について関係者間協議(6/8、6/20、7/4、8/8) <p>※中心市街地活性化構想:町有施設等を活用した土佐和紙職人の育成や宿泊及び飲食施設の整備による地元住民や移住者等の交流の場をつくり交流人口の増を図る構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き生姜焼き街道の実施を決定 ・生姜焼き街道全体会(7/24) ・生姜焼き街道と併せて町内飲食店6店舗で生姜スイーツ提供の取り組み開始(8/1~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化イベントを継続するための体制づくり ⇒地元商店街への参加の呼びかけ等により、商店街が一体となって取り組むために必要な意識を醸成 ・空き店舗の活用 ⇒空き店舗家賃補助事業の実施 ・中心市街地活性化構想案実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり ⇒中心市街地活性化構想案の実施に向けた関係各所との協議 ・生姜焼き街道・生姜スイーツの取り組みのPR・周知 ⇒イベントに付随した取り組みの検討など、観光協会等関係各所との連携によるさらなるPR・周知の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)高知アイス 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4.5 億円 < H26 : 3.75 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4.32 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4 億円 → 実績 4.13 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>冷菓等の販売額 (1~6 月) : 219,283 千円 (前年同期比 126%)</p> <p>(内訳)</p> <p>海外(卸・催事)販売額 (1~6 月) : 18,505 千円 (前年同期比 64.9%)</p> <p>国内販売額 (1~6 月) : 186,425 千円 (前年同期比 138%)</p> <p>売店販売額 (街カフェ売上含む) (1~6 月) : 14,353 千円 (前年同期比 141%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外、海外 (台湾、ハワイ、タイ、シンガポール) での商談会、プロモーション活動 (6 月末) : 9 回 ・ 産振総合補助金の活用による生産体制及び売店施設の拡充 (5/18 交付決定、6 月着工、7/21 変更交付決定、8 月完了予定) ・ H30.2 月のスーパーマーケットトレードショーに向けたドリンクの新商品開発開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外での販路拡大 ⇒ 関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒ 香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓 ⇒ TV、新聞等での広報・宣伝活動
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 (仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家 <p>※地域産業クラスター関連 ((株)フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(株)フードプランの販売額 : 6.4 億円 < H26:4.4 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 6.0 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額 : 6.0 億円 → 実績 5.6 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(株)フードプランの販売額 (H28.10~H29.6 月) : 4.5 億円 (前年同期比 110%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新工場整備にかかる関係者協議の定期開催 (毎月) ・ ドレッシングの商品化に向けて、食品産業総合支援事業費補助金の活用により機器を整備 (8/8 交付決定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 (佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町 ・ JA コスモス ・ 地元農家 ・ 地元酪農家 ・ 佐川町商工会 ・ 地元商工業者 ・ (有)吉本乳業 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.57 億円 < H27 : 0.86 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.33 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 0.92 億円 → 実績 1.3 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 (H28.8~29.6月) : 1.11 億円 (前年同期比 95%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催 : 4回 (4/5、5/10、7/12、8/10) ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地乳のブランド力向上 ⇒ 地乳プロジェクト推進会議の組織体制及び事業内容の再検討 ・ 地乳の販路拡大 ⇒ 四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり ・ 衛生管理体制の強化 ⇒ 県版HACCP (第3ステージ) の認証取得に向けた社内体制の構築
<p>■No. 24 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 (越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)岡林農園 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.8 億円 < H26 : 1.4 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.95 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.75 億円 → 実績 1.93 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>岡林農園の販売額 (H28.9~H29.7月) : 1.99 億円 (前年同期比 108.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「フードホテルジャカルタ 2017」(インドネシア) への出展 (4/5~4/8) ・ 「グッドフード&ワインショー」(オーストラリア) への出展 (6/2~6/4) ・ オーストラリア、インドネシア等海外へのユズ果汁等の輸出を拡大 ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) ・ 5S 推進による体質改善 (通年)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知暮らしフェア 2017」への参加(6/25) ・「居酒屋産業展」への参加(8月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織及び経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や5S、県版 HACCP(第3ステージ)取得の推進継続 ・人材(管理職等)の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加
<p>■No. 25 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エスエス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:90,000千円 <H26:46,760千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円 →実績66,397千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 (H28.9~H29.6月):52,063千円(前年同期比94.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)コスモ工場の竹製品製造過程で発生する竹くずを一部の商品の原料に混ぜてテスト使用(H28.9月~)し、経年変化を確認中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒OEM先のアース・ペット(株)との連携強化 ⇒原材料(オガ粉)の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保 ・OEM先の新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工場との連携体制を構築 ・原材料(オガ粉)の供給量不足への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒オガ粉に代わる原材料として、製紙スラッジ(紙の精製過程で発生する廃棄物)の利用について検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直販市の販売額：200,000千円<H26：104,382千円> フットパス等体験観光客数：400人<H26：241人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>直販市の販売額：200,000千円 フットパス等体験観光客数：300人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>直販市の販売額：200,000千円 → 実績 227,253千円 フットパス等体験観光客数：280人 → 実績 345人</p> <p>[取組状況]</p> <p>直販市の販売額（7月末）：82,641千円 （前年同期比 108.3%）</p> <p>フットパス等体験観光客数(7月末)：56人 （前年同期比 127.3%）</p> <p>来客者数（レジ通過）（7月末）：73,978人 （前年同期比 103.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村農業クラスタープロジェクト会（5/31） ・村の駅ひだか運営等検討会（商品・月別売上分析や取組内容の検討等）の開催：2回 ・H26.11月オープン以来の来客者数（レジ通過）50万人達成（5/8） ・地方創生拠点整備交付金の活用による増床工事（8/1入札、8～10月工事、11月リニューアルオープン） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者（生活改善グループ）の高齢化に伴う後継者づくり ⇒観光案内所機能の充実
<p>■No. 27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：5,500人 <H26：4,153人></p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数：72,000人<H26：65,410人> 主要観光施設の入込客数：276,000人<H26：216,458人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：4,884人 主要宿泊施設の宿泊者数：69,414人 主要観光施設の入込客数：250,577人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社) さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[H28 到達状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：4,500人 → 実績 4,511人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数：61,000人 → 実績 64,603人(速報値)</p> <p>主要観光施設の入込客数：270,000人 → 実績 238,983人(速報値)</p> <p>[取組状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数(6月末) ：1,451人(前年同期比131%)</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数(6月末速報値)：8,412人 (前年同期比52%)</p> <p>主要観光施設の入込客数(6月末速報値)：58,260人 (前年同期比100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターによる情報発信 ・セールス件数(6月末)：訪問26社、商談会52社(東京、名古屋) ・物産観光PR(5月末)：1回(東京海上日動火災) ・仁淀ブルーメールマガジン配信数(6月末)：13本 ・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会の開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会、県(地域本部・地域観光課))のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会において、関係者による仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、JA、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標(H31)]</p> <p>施設来客者数:12万人<H27:0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>施設来客数:9万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>施設来客数:7万人 → 実績6.2万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>施設来客数(6月末):32,260人(前年同期比256%)</p> <p>直販所レジ通過者数(6月末):12,415人 (前年同期比151%)</p> <p>直販所売上高(6月末):10,321千円(前年同期比170%)</p> <p>飲食店レジ通過数(6月末):7,130人(前年同期比156%)</p> <p>飲食店売上高(6月末):6,878千円(前年同期比145%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施(1周年祭、スイカメロンフェア、日本風景写真協会写真展、新居地区民展など) ・テナント間の連携事業実施に向け、産振アドバイザーの導入(8月～、全5回予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増加させるための仕組みづくり ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ、サイクルオアシス等)の提供 ⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催 ・観光交流施設「南風(まぜ)」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開 ⇒直販所への集荷を強化するため、越知町への出張集荷(ニンジン、ジャガイモ、卵、花卉類の苗等)を実施
<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数:25,000人<H26:15,000人></p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:5,000人<H26:4,585人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数:22,500人</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:4,200人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>上町地区への入込客数:21,250人 → 実績22,023人</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:3,800人 → 実績4,321人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>上町地区への入込客数(6月末):7,762人 (前年同期比146%)</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数(6月末):1,081人 (前年同期比99%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加(観光協会より1名参加) ・さかわ観光クラスター協議会の開催:2回(5/25、7/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛けや体験プログラムの検討等によるクラスターのさらなる推進 ⇒旧浜口邸において、佐川の素材を活かし、上町地区の風情に合った食事メニューの提供
<p>■No.35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇スノーピーク監修のアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民への説明(4/27 越知町区長連合協議会総会) ・越知町かわの駅キャンプ場条例の制定(6/13) ・観光拠点等整備事業費補助金外部審査会(7/14) ・日ノ瀬キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> ▶造成工事(フリーサイト)(10月末完成予定) ▶造成工事(宿泊棟)(9月発注予定) ▶管理棟工事(7/26 建築確認申請、9月発注予定) ・用地取得に向けた所有者との交渉 ・指定管理者公募(9月予定) ・東京大学「フィールドワークスタディ型政策協働プログラム(テーマ:キャンプ場を核とした地域活性化)」の実施(8月下旬) ・町民等への事業周知を目的に宮ノ前公園で町内の子供を中心としたアウトドア体験イベントを実施(9/23・9/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 施設における物販等ソフトの検討 ⇒流域物販に向けた事業者との調整
<p>■No. 36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)屋形船仁淀川 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数：4,500 人<H26：3,261 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>乗船者数：6,000 人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>乗船者数：4,100 人 → 実績 5,276 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>乗船者数（7 月末）：2,547 人（前年同期比 151.2%） ガイド付き乗船者数（7 月末）：132 人（前年同期比 69.5%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルに向けた検討 ・ガイド人数（7 月末）：5 人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの養成・増員 ⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設（地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中）、売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

2 平成 29 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>5/19 交付決定</p> <p>7/21 変更交付決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最中アイス、ドリンクの生産体制を強化し、新規取引先の開拓や取引先の規模拡大を目指すとともに、売店テラスを改修することで来客者の満足度及び稼働率の向上を図る。 	<p>20,957 (9,600)</p>
<p>No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大（仁淀川町）</p> <p>4/27 交付決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新工場を建設することで、県内産の野菜を中心に使用したカット野菜の製造能力を上げ、増加する県内外からの取引ニーズに対応するとともに、仁淀川町の中山間地域での雇用の拡大、農業者の増加を図る。 	<p>341,604 (100,000)</p>

No. 22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進（仁淀川町） 4/24交付決定	・沢渡茶の販売拠点を整備し、茶をはじめとする地域の特産品等の販売拡大に取り組むことにより、地域の雇用創出及び茶生産者の所得向上を図るとともに、地域の観光拠点として交流人口の拡大を図る。	42,984（19,908）
---	--	----------------

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■酔鯨酒造株式会社新工場を活かした観光拠点施設活用事業

（概要）酔鯨新工場を核とした体験型交流事業を推進することにより、交流人口の拡大につなげ、観光の活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/24)
- ・越知町商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/25)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/26)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/31)
- ・高知銀行本店及び仁淀川流域各支店長等と地域本部との情報共有会議で取組説明（6/23）

5 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/21・6/6	食品加工	加工製品販路開拓（パッケージデザイン等）について
2	4/11	商工	食品加工施設の改修について
3	5/23	産業	機能性表示食品制度の活用に向けた取り組みについて
4	5/24/・7/24	商業	ピザ販売に向けた取り組みについて
5	6/1	農業	文旦農家企業相談について
6	6/2	商工	加工食品の設備整備（削り芋封入時の窒素充てん機械導入検討）について
7	6/5	観光	観光施設の維持継続について

有望素材シート（29年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐市	素材名	酔鯨酒造株式会社新工場
		関連素材	日本酒、酒米、外国人観光客
現状・課題	<p><現状> 現在土佐市では、滞在型・体験型観光の推進による交流人口の拡大に向け、観光商品等の情報発信を行うとともに、受入体制の強化及び新たな体験プログラムの造成などに土佐市商工会と連携しながら取り組んでいる。 近年では、土佐市の大きな魅力の一つである仁淀川及び太平洋を活かして、ホエールウォッチング、SUP、釣り、レンタサイクルなど、様々なアウトドアアクティビティのフィールドとしての活用も拡大しつつある。 しかしながら、こうした交流人口の拡大に向けた取り組みとして、核となる観光拠点施設や宿泊施設が少なく、高知新港に寄港するクルーズ客船やバスツアー客（1台約40人乗車）等の誘致の取り組みにも苦慮しているのが現状である。 高知市長浜において酒造業を営む酔鯨酒造株式会社は、高知県の企業立地促進事業費補助金を活用し、新たな生産拠点として土佐市甲原地区に新工場を建設中である。</p> <p><課題> ○観光客等交流人口拡大のための受入施設の確保 ○地元産業の新たな価値の確立 ○体験型施設の整備、確保 ○地域交流の場のさらなる提供</p>		
方今後の	<p>○新工場では、上級品種や地元酒米を使用した日本酒を製造するとともに、観光客をターゲットとした製造過程の見学など、酒造り体験等の体験型観光施設としての活用を検討中であり、今後に向けても酔鯨株式会社と土佐市との協議を継続し、新工場を効果的に活用した事業の実施、交流人口の拡大、地域の活性化を図る。 ・見学体験型施設（40人規模）を整備 ・酒造副産物利用による新商品の開発 ・地元産品と工場製品とのコラボレーション ・敷地内空き地の有効利用 ・地元酒米の活用による販売強化と更なる商品展開</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化				
	関係市町村名	土佐市				
事業の概要	<p>酔鯨新工場を核とした体験型交流事業を推進することにより、交流人口の拡大につなげ、観光の活性化を図る。</p> <p>○メニューの提供 ・酒蔵見学 ・酒造り体験 ・限定酒の瓶詰体験 ・流域酒蔵の蔵めぐり ・限定酒と食材の組み合わせの体験</p> <p>○受入体制づくり ・大型バス駐車場の整備 ・仁淀川流域との観光分野での連携 ・見学体験棟、イベント広場等の整備</p> <p>○誘客の促進 ・イベント開催 ・敷地内空き地の植物観賞、花見等 ・社会科見学、修学旅行等の受入 ・グランピング等の実施</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 土佐市、酔鯨酒造株式会社</p> <p>【関係機関】</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	見学体験施設等を活用したメニューの提供	<p>・イベント・見学・体験等のメニューづくり ・事業者等の視察・研修等の受入プランづくり</p> <p>・イベント・見学・体験等のメニューの提供 ・事業者等の視察・研修等の受入 ・見学者ギャラリーのオープン</p>				
	受入体制づくり	<p>・多様な関係者等との観光客誘致のための関係構築 ・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・体験メニュー運営方法の検討</p>				
誘客の促進	<p>・情報発信の検討 ・インバウンド対応の検討 ・副原料を利用した新商品の開発・販売</p> <p>・情報発信 ・インバウンド対応 ・副原料を利用した新商品の開発・販売 ・地場産品と酒器のセット商品の販売</p>					
指標・目標	項目（期末：月末）	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	施設来客者数	0人	500人	2,000人	3,000人	4,000人
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】 H30年9月：醸造開始 H30年11月：仮見学スペース供用開始 H33年11月：見学体験棟、イベント広場完成 H34年2月：イベント広場等でのイベント開始</p> <p>【考え方】</p>				
総事業費等	<p>総事業費 千円 （うち 29年度 千円）</p> <p>（内訳 国： 県： 市町村： その他： ）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県： 人的支援： その他： </p>					
備考						

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
	見学体験施設等を活用したメニューの提供				施設来客者数 (H28:0人)	2,000人
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、見学、体験等のメニューづくり ・事業者等の視察、研修等の受入プランづくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、見学、体験等のメニューの提供 ・事業者等の視察、研修等の受入 ・見学者ギャラリーオープン 			
	受入体制づくり					
		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な関係者等との観光客誘致のための関係構築 ・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・体験メニュー運営方法の検討 				
	誘客の促進					
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の検討 ・インバウンド対応の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・インバウンド対応 ・地場産品と酒器のセット商品の販売 			
	副原料を利用した新商品の開発・販売					

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 1 9

高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 42 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

J A 土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イートインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額など順調に推移している。

また、四万十栗のブランド化と関連産業を含めた地域産業クラスターの形成を図るため、栗の生産拡大とともに、加工施設の整備に向けた取り組みを進めている。

畜産分野では、養豚農家自らが産振総合補助金を活用して整備した加工・直販所が昨年 4 月にオープンし、順調に売上を伸ばしているほか、養豚規模の拡大と生産効率の改善に向けた畜舎の整備が 5 月に完了し、農場 HACCP の認定取得や母豚の増頭などに取り組んでいく。

林業分野では、四万十町森林組合が F S C、S G E C の森林認証材など「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材のさらなる販売促進を図るため、都市部の家具デザイナーやバイヤーの産地への呼び込みによる成約率の向上を目指して、集成材製品の展示・商談施設を整備しており、外構工事を含め、10 月中旬の完成を予定している。また、今秋、県立新図書館へ納入する木製書架等の原材料である木材の調達を始めており、さらなる売上の増が期待される。

水産分野では、須崎市と中土佐町の 2 か所の水産加工施設において、加工機器の導入や県外の取引先への定期的な外商活動等が行われており、販売量を徐々に拡大している。

商工業分野では、中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点となる「道の駅なかとさ」が、7 月 6 日に落成、7 月 15 日にグランドオープンした。その後も 7 月末現在で施設全体の売り上げが 43 百万円を超え、レジ通過者数も 4 万人を超えるなど順調に推移している。今後は、その他の既存の地元スポット（大正町市場など）とのさらなる相乗効果が図られるよう、道の駅案内所での町内観光地のきめ細やかな案内に加えて、「大正町市場」や「上ノ加江地区」などとの連携策の検討が必要である。

観光分野では、須崎市で浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点として整備しており、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して工事等に着手している。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額:92億円<H27:85.6億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額:88.2億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額:82億円 → 実績85.6億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目慣らし会:11回 ・ 現地検討会:7回 ・ 勉強会:2回 ・ 栽培現地実証ほの調査:14ヶ所 ・ IPM技術の実証ほの調査:5ヶ所 ・ 環境制御技術の実証ほの調査:19ヶ所 ・ JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会において関係者間で活動計画の検討と目標の共有化 ・ 環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家が増加中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)土佐くろしお村村営みのり ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>全作業受託面積 :10ha<H27:5ha></p> <p>一部作業受託面積 :54ha<H27:28ha></p> <p>直販所販売額 :195,100千円<H26:77,185千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>全作業受託面積 :14ha</p> <p>一部作業受託面積 :30ha</p> <p>直販所販売額 :201,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>全作業受託面積 :9ha → 実績13ha</p> <p>一部作業受託面積 :30ha → 実績27ha</p> <p>直販所販売額 :142,747千円 → 実績235,367千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全作業受託面積(7月末):13ha ・ 一部作業受託面積(7月末):11.3ha ・ 直販所販売額(7月末):113,447千円(前年同期比186%) <p>[「村営みのり」農作業受託]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会(5/2)、総会(6/30)の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンバイン導入に向けた取り組み (すさきがすきさ産業振興推進総合支援事業申請:5/2、 入札会:5/30) コンバイン導入(7月) 〔「とさっ子広場」直販所〕 ・運営委員会(4/4、6/21)、通常総会(4/19) ・1周年記念祭(5/26～5/27) ・出荷者協議会県外視察(6/1) ・イベント実施(うなぎのかば焼き)(7/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な受託作業の仕組みづくり ⇒多様な受託作業に対応可能な体制の構築 ・直販所の売上向上 ⇒野菜栽培講習会開催による出荷及び生産の拡大と商品 包装勉強会による商品の磨き上げ
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額:3.2億円<H26:2.7億円></p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: 20,000千円<H26:8,099千円></p> <p>所得400万円以上の農家数:8戸<H26:6戸></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額:3.5億円</p> <p>農業分野補完品目販売額:28,625千円</p> <p>所得400万円以上の農家数:8戸</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>主要農産物5品目販売額:2.9億円 → 実績4.0億円</p> <p>農業分野補完品目販売額 :14,500千円 → 実績23,029千円</p> <p>所得400万円以上の農家数:6戸 → 実績9戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野山地域営農連絡協議会開催:1回 ・生産部会等の開催:7回 ・実証ほの設置:7カ所 ・担い手育成、複合経営拠点等に係る協議の実施 協議会:1回、関係者打合せ:3回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒営農みらい塾への研修生受け入れ

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円<H26:5,719千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高:30,000千円 → 実績35,290千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(7月末):54,792千円(前年同期比859%) ・展示商談会等への参加:1件 ・新規取引先の開拓:10件 ・新商品の開発:2品目(黒にんにくチョコレート、アヒージョ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な人材の確保 ⇒リクルートを目指した会社の魅力をPRする広報戦略の展開
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・おおのみエコロジーファーマーズ</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t<H27:12.9t></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>エコ米販売量:22t</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>エコ米販売量:16t → 実績20t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催:1回 ・執行委員会の開催:1回 ・圃場の巡回指導:3回 ・高知大丸での販促活動:1回 ・教育現場との交流活動:4回 高知県立大学(COME☆RISH):田植え体験交流(2回) 小学校:清流度調査・水生生物調査(1回) 中学校:清流度調査・水生生物調査(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ⇒エコロジーファーマーズの取り組み周知 (HPや口コミによる賛同者拡大の取り組み) ・作付面積の拡大 ⇒生産拡大に向けた営農指導

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 22,000 千円 <H26:14,367 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 18,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額 : 17,000 千円 → 実績 17,944 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売額 (6 月末) : 2,452 千円 (前年同期比 109%) ・商談会への参加 : 1 回 ・アドバイザーにより、キジの捌き方や熟成、衛生管理等について指導(5/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 ⇒商談会への参加
<p>■No.8 肉用牛の生産拡大による地域産業の 活性化 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人津野山畜産公社 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷頭数 : 129 頭 <H27 : 105 頭></p> <p>販売額 : 104,000 千円 <H27 : 100,969 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>出荷頭数 : 105 頭</p> <p>販売額 : 93,700 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>出荷頭数 : 105 頭 → 実績 101 頭</p> <p>販売額 : 93,700 千円 → 実績 104,978 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数(7 月末) : 24 頭 (前年同期比 92%) ・販売額 (7 月末) : 29,877 千円 (前年同期比 107%) ・畜産公社と JA 津野山畜産部門の合併 (4 月) ・畜産クラスター協議会開催 : 2 回 ・畜舎建設地の造成工事完了 (6 月) ・畜舎等設計管理入札 (4 月)、畜舎設計書納品 (6 月) ・畜舎造成に係る産振総合補助金審査会 (7 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新畜舎造成の早期着工 ⇒国補助金および県産振総合補助金の交付決定 (9 月予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A津野山 ・ 津野町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>茶製品販売額 : 34,000 千円<H26:13,596 千円></p> <p>荒茶販売額 : 54,000 千円<H26:51,218 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>茶製品販売額 : 33,958 千円</p> <p>荒茶販売額 : 53,431 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>茶製品販売額 : 25,901 千円 → 実績 25,630 千円</p> <p>荒茶販売額 : 52,489 千円 → 実績 47,769 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶製品販売額(6月末) : 4,547 千円 (前年同期比 98%) ・ 荒茶販売額(6月末) : 45,858 千円 (前年同期比 96%) ・ かぶせ茶農園の増 (農家 5→6 戸、面積 65→75a) ・ つの茶販売戦略会議 (1 回) ・ 大手企業との協賛事業実施 (協定式、交流イベント 1 回) ・ 販売促進の展開 (イベント販売) (4 回、7 日) ・ 県産品商談会等への参加 (1 回) ・ 商談会 (FOODEX JAPAN) 参加に向けた協議 ・ HACCP 認証取得に向けたアドバイザー指導 ・ 新製品の販売 (津野山テロワール) ・ 茶製品 (ペットボトル) のデザインリニューアル (2 種) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶製品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒イベント参加から販売先(主に卸売業者)の開拓に重点をシフト ・ 荒茶の販売単価の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒つの茶の販売戦略計画に基づく買い取り支援 ⇒かぶせ茶への転換の呼びかけ
<p>■No.10 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A四万十 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額</p> <p>: 300,000 千円<H26 : 221,286 千円></p> <p>「手づくりキッチン」の販売金額</p> <p>: 35,000 千円<H26 : 30,047 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額 : 250,000 千円</p> <p>「手づくりキッチン」の販売金額 : 33,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>「産直コーナー」の販売金額</p> <p>: 250,000 千円 → 実績 241,607 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>「手づくりキッチン」の販売金額 : 33,000 千円 → 実績 39,176 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産直コーナー」の販売金額(6月末): 60,654 千円 (前年同期比 100%) ・「手づくりキッチン」の販売金額(6月末): 11,592 千円 (前年同期比 120%) ・みどり市総会: 1 回 ・みどり市産直の運営に係る検討会: 2 回 ・手づくりキッチンの運営に係る検討会: 3 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産出荷量の増加 ⇒継続的な栽培技術支援 ・販売促進 ⇒全国の J A ファーマーズとの連携強化 ⇒手づくりキッチンの新メニューの検討
<p>■No. 11 四万十の栗再生プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会 <p>※地域産業クラスター関連(四万十の栗プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量): 45t < H26: 17t > 加工品売上高: 100,000 千円 < H26: 33,320 千円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量): 31t 加工品売上高: 69,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量): 25 t → 実績 29 t 加工品売上高: 60,000 千円 → 実績 74,620 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品売上高(7月末): 12,119 千円 (前年同期比 70%) ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会: 役員会 1 回 総会 1 回 ・農業クラスタープランプロジェクトチーム会: 2 回 ・1.5 次加工場の整備 (4/18 着工、9 月上旬完成予定) ・GAP(生産工程管理)の取り組み支援(巡回指導): 1 回 ・新梢調査(生育調査): 2 回 ・栗技術チーム会: 4 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗の生産出荷量の増加 ⇒低樹高栽培に向けた剪定技術の普及

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 四万十町畑作振興プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十野菜合同会社 ・ (株) ハマヤ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 118,911 千円<H26:0 円> 雇用者数 : 18 人 (累計) <H26:0 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 96,978 千円 雇用者数 : 12 人</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 76,660 千円 → 実績 47,649 千円 雇用者数 : 7 名 → 実績 10 名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売額 (5 月末) : 1,340 千円 (前年同期比 91.3 %) ・ 雇用者数 (5 月末) : 10 名 ・ 定例会 : 4 回 ・ 出荷施設整備への補助事業導入検討会:5 回 ・ 慣行栽培から特別栽培への移行について協議 : 5 回 ・ 野菜栽培指導 : 8 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の生産拡大 ⇒集出荷施設の整備、栽培技術の向上
<p>■No. 15 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ポークブランド推進協議会 ・ 農事組合法人四国デュロックファーム ・ 農事組合法人平野協同畜産 <p>※地域産業クラスター関連 (四万十ポーク ブランド推進プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 551,545 千円<H27:518,785 千円></p> <p>(農)平野協同畜産母豚数 : 500 頭<H27:420 頭></p> <p>(農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 11,000 頭<H27:8,400 頭></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 549,095 千円 (農)平野協同畜産母豚数 : 450 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 9,550 頭</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 537,271 千円 → 実績 532,751 千円 (農)平野協同畜産母豚数 : 420 頭→ 実績 428 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 8,400 頭→ 実績 8,362 頭</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (農)四国デュロックファーム売上高 (6 月末) : 135,894 千円 (前年同期比 89.6%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(内訳)</p> <p>養豚売上高(6月末):114,164千円(前年同期比84.8%)</p> <p>加工直販所売上高(6月末) :18,985千円(前年同期比131.4%)</p> <p>飲食店売上高(バル)(6月末) :2,745千円(前年同期比106.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(農)平野協同畜産母豚数(7月末) :461頭(前年同期比112.7%) ・(農)平野協同畜産出荷頭数(7月末) :2,810頭(前年同期比100.6%) <p>○四万十ポークブランド推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窪川養豚協会総会の開催(5/24) ・四万十ポークブランド推進協議会総会の開催(6/2) ・打合せ会(クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等) ・防疫研修会:1回 <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に係る打合せ:3回 ・商談会への参加:2回 ・豚バルデュロック神戸店開業(5月) <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター及び畜舎補改修に係る打合せ:3回 ・農場HACCPに係る打合せ、チーム会:4回 ・既存畜舎3棟の補改修工事完了(5月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保 <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数の増頭 ⇒衛生管理と生産体制のさらなる向上
<p>■No.16「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) :15,400m³<H26:13,999m³></p> <p>集成材工場の売上高 :3億円<H26:4億円></p> <p>F S C等認証森林面積 :8,013ha<H26:6,678ha></p> <p>販売連携事業者数 :3社<H26:0社></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十町 ・ 中土佐町 ・ 地元事業者 	<p>[H29 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量 : 27,000 m³</p> <p>集成材工場の売上高 : 2.9 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積 : 7,200ha</p> <p>販売連携事業者数 : 2 社 (累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域森林資源の原木生産量 : 14,000 m³ → 実績 26,763 m³ ・ 集成材工場の売上高 : 2.9 億円 → 実績 2.6 億円 ・ F S C 等認証森林面積 : 7,000 ha → 実績 7,189ha ・ 販売連携事業者数 : 1 社 → 実績 1 社 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域森林資源の原木生産量 (6 月末) : 7,222 m³ (前年同期比 114%) ・ 集成材工場の売上高 (6 月末) : 38,931 千円 (前年同期比 91.4%) ・ F S C 等認証森林面積 (6 月末) : 7,189ha (前年同期比 100%) ・ 販売連携事業者数 (6 月末) : 1 社 (累計) ・ 産振総合補助金の活用による大正集成材工場展示場の整備 (H28.10/17 交付決定、5/17 着工、10 月完成予定) ・ 四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数 : 83 回 ・ ベッドメーカー(シモンズ)へのベッド納品(7 月末) : 10 台 (H28:140 台) ・ 四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会:1 回、総会:1 回 ・ 韓国総領事の視察商談 (4/21) ・ 産地商談会の企画打合せ (森林組合、役場、林業事務所、4/21) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集成材製品展示場を活用した外商活動の強化 ⇒三者(森林組合、役場、林業事務所)による「四万十ヒノキ販路開拓ワーキング」の開催 (9 月) ⇒大正集成材工場展示場オープニングイベント「(例)展示場お披露目:産地商談会の開催」(10~11 月頃) ⇒高知もくもくランドでの P R : 10/28(土)、10/29(日) (四万十ヒノキブランド化推進協議会)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知精工(株) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品販売高: 10,000千円<H26:5,701千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>商品販売高: 9,500千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>商品販売高: 7,000千円 → 実績9,424千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品販売高(7月末): 2,763千円(前年同期比94.8%) ・PRの強化に向けHPを改修中(12月完成予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP等でのPR及び製薬会社等への商談
<p>■No. 22 美味しい!須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 ・海の駅「須崎の魚」 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 10,000千円<H26:8,027千円></p> <p>交流人口: 10,000人<-></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高: 9,000千円</p> <p>交流人口: 9,000人</p> <p>[H28到達実績]</p> <p>売上高: 9,000千円 → 実績7,236千円</p> <p>交流人口: 9,000人 → 実績7,108人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(7月末): 2,023千円(前年同期比88%) ・交流人口(7月末): 1,612人(前年同期比100%) ・旬の魚まつり開催(7月末): 4回 ・鯉の薫焼きタタキ体験者数(7月末): 65人 ・須崎市観光漁業センターとの連携による釣客の魚捌きサービス実施 → 利用者数(7月末): 6組 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるーめ須崎の利活用の促進 ⇒定期的なイベント開催による認知度向上 ⇒釣客の魚捌きサービスについて須崎市観光漁業センターと連携したPRの実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・(株) みなみ丸 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 86,960 千円<H26:4,320 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円 → 実績 27,600 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 (6 月末) : 17,760 千円 (前年同期比 165%) ・県外商談会への参加 (県水産物地産外商推進事業費補助金の活用) ・県版 HACCP 第 2 ステージ申請作業中 ・奈良コープでの試食会の開催 : 4 回 (延べ 8 日間) ・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送 ・新商品開発に伴う加工機器の導入 (革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒商談会への参加 ・加工場の衛生管理の徹底 ⇒県版 HACCP の取得及び民間会社による衛生指導
<p>■No. 24 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株) 大東冷蔵 ・(有) 小島水産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 100 千尾<H26:60 千尾> 乙女会 : 300 千尾<H26:53 千尾></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 80 千尾 乙女会 : 300 千尾</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売数量</p> <p>土佐鯛工房 : 80 千尾 → 実績 70 千尾 乙女会 : 300 千尾 → 実績 187 千尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売数量 土佐鯛工房 (7 月末見込) : 20 千尾 (前年同期比 92%) 乙女会 (6 月末) : 28 千尾 (前年同期比 153%) <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会 : 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の確保：2名が長期研修受講予定 ・海外（タイ及びアメリカ）との取引に向けた商談 〔乙女会〕 ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・県版 HACCP 第2ステージ取得に向けた保健所との協議 ・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送 ・県外商談会への参加（経営革新・外商支援事業補助金の活用） <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の確保 ⇒県主催のセミナー等による継続的な雇用募集
<p>■No. 26 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進（中土佐町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 ・中土佐町地域振興公社 	<p>〔目標（H31）〕</p> <p>商品売上高：35,987千円<H26:6,635千円></p> <p>〔H29 到達目標〕</p> <p>商品売上高：22,000千円</p> <p>〔H28 到達状況〕</p> <p>商品売上高：22,000千円 → 実績 13,912千円</p> <p>〔取組状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品売上高(7月末)：5,371千円（前年同期比68%） ・鯉のたたき等の商品PR：1回 （「四万十源流の里」指定管理者へ商品サンプル提供） ・「四国×酒国2017」出店（5/28） ・「高知大丸ディスカバリー高知フェア」出店（6/6） ・自民党物産展出店（5/16～5/17） ・「ウェスティンホテル大阪」他2社が「ピンピ鯉」「上々鯉」「特選鯉」の取扱開始 <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びんぴ鯉のタタキ」「上々鯉のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化 ⇒外商に向けた県外の新規販売先の開拓など ・鯉が少ない時期におけるニーズへの対応 ⇒冷凍技術の導入を検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 中土佐町S E Aプロジェクト</p> <p>《事業主体》</p> <p>・中土佐町</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>年間売上額：340,000 千円</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>年間売上額：193,500 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>-</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 (7 月末)：43,387 千円 ・市内S E Aプロジェクト検討会実施：5 回 ・現地協議：5 回 ・出店予定者との協議：4 回 ・行政支援による設計・調整協議：3 回 ・生産者への講習：2 回 ・プロモーションに関する協議：5 回 (ほか撮影等：7 回) ・POS システム導入に関する協議：3 回 (ほか研修会：6 回) ・産振アドバイザーの活用 (ファストフードコーナーで提供するメニューの開発)：3 回 (4/17、5/12、6/26) ・テナントとの協議：4 回 ・道の駅およびみなとオアシスへの登録(4/21) ・(株) SEA プロジェクト株主総会 (6/1) ・道の駅なかとさ落成セレモニー・オープン (7/6) ・道の駅なかとさグランドオープン (7/15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携 ・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用 ・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等 ・既存の地元施設との連携による相乗効果の発揮 ⇒道の駅案内所での町内観光地の案内、道の駅 HP での町内イベントへの誘導

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 29 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・企画・ど久礼もん企業組合</p>	<p>[目標(H31)] 開発する商品数：年1商品(4商品) 商品売上高：50,000千円<H26:32,180千円></p> <p>[H29到達目標] 開発する商品数：1商品 商品売上高：31,000千円</p> <p>[H28到達状況] 開発する商品数：1商品 → 実績1商品 (マグロワタラー油) 商品売上高：35,000千円 → 実績25,583千円</p> <p>[取組状況] ・商品売上高(6月末)：6,073千円(前年同期比88%) (内訳)店舗：2,361千円(前年比102.3%) 出荷：3,712千円(前年比80.9%) ・新商品試作：2商品 ・商談会及び営業活動：5回 ・イベント等でのPR販売：3回</p> <p>[課題と今後の対応] ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発 ⇒衛生面に配慮した加工施設整備の検討</p>
<p>■No. 31 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》 ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町</p>	<p>[目標(H31)] 直販所総販売額：1.62億円<H26:1.53億円> 直販所販売額(高知店3店舗)：1億円<H26:0.91億円> 満天の星売上：2.27億円<H26:1.89億円></p> <p>[H29到達目標] 直販所総販売額：1.55億円 直販所販売額(高知店3店舗)：0.86億円 満天の星売上：2.17億円</p> <p>[H28到達状況] 直販所総販売額：1.55億円 → 実績1.48億円 直販所販売額(高知店3店舗)：0.8億円→実績0.8億円 満天の星売上：2.12億円 → 実績2.35億円</p> <p>[取組状況] ・直販所総販売額(6月末)：39,024千円(前年同期比103%) ・直販所販売額(高知店3店舗)(6月末)：21,903千円 (前年同期比113%) ・満天の星売上(6月末)：61,392千円(前年同期比95%) ・関係者経営会議等：14回</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・販促イベント(のべ14回、37日) 土佐の食1グランプリ、満天の星5周年祭など ・県産品商談会等への参加(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応えた生産・供給体制 ⇒各店舗の販売状況の分析 ・統合JAの大型直販所オープンに向けた対策 ⇒町内直販所連絡協議会による検討
<p>■No. 34 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>交流人口:23,000人<H26:16,000人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>交流人口:18,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>交流人口:17,500人 → 実績 25,592人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口(6月末):3,730人(前年同期比134%) ・県と須崎市関係各課との協議:1回 ・スポーツセンターを活用した地域活性化策に関する検討会の開催:1回 ・スポーツ合宿(7月末):28人泊 ・個人向け体験プログラムの利用者数:56人 ・ホストタウン登録申請:2カ国(オーストラリア・チェコ) ・オリパラ事前合宿視察受入:1ヶ国(チェコ) ・ハンガリーにおいて、須崎市及び県によるオリパラ事前合宿誘致活動(5/21~5/30) ・施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 大島親水公園整備工事(5月着工) 大島管理棟新築工事(4月着工) 大島栈橋設置工事(5月着工) ・カヌーを活用した地域活性化に関する意見交換会の開催(須崎市、本山町、土佐町) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の充実・強化 ⇒合宿受入窓口一本化に向けた協議、地域おこし協力隊の募集 ・PRの強化 ⇒関係者と広報戦略に関する協議

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 39 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株) 海洋堂 ・(株) 奇想天外 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ホビー館の年間入場客数 : 50,000 人 <H26 : 44,033 人> 常勤雇用者数 : 5 人 <H26 : 5 人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>ホビー館の年間入場客数 : 50,000 人 常勤雇用者数 : 7 人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入館者数 : 50,000 人 → 実績 43,905 人 常勤雇用者数 : 7 人 → 実績 7 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 (6 月末) : 8,845 人 (前年同期比 62%) ・企画展開催 : 3 回 (予定) <ul style="list-style-type: none"> 「海洋堂からの挑戦状」(3/18~5/29) 「これが海洋堂だ展」(7/8~10/2) ・イベントの開催 (5/5 ビンゴ大会や2分の1成人式等) ・渋滞対策の実施 (シャトルバスの運行及び警備員の配置) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化

2 平成 29 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■(株) ぶらうん 6 次化新工場建設に関する調査事業(地域アクションプランを目指す取り組み)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>6/14 交付決定</p>	<p>・スイーツの増産及び卵を使った総菜の製造・販売に取り組む為に、新商品のマーケティングや製造に必要な新工場についての調査を実施</p>	<p>2,106 (975)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大《四万十町》

(概要)

養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う 6 次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・梶原町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/22)
- ・津野町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/24)
- ・四万十町商工会(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(5/24)
- ・須崎市商工会議所(総会)での産業振興計画の取り組み説明及び県庁支援事業の説明(6/28)

- ・高知銀行との意見交換会での第3期計画 ver.2 の説明 (6/12)
- ・政策金融公庫との意見交換会 (7/21)
- ・金融機関、商工会他への産業振興計画シンポジウムへの参加案内等 (5月末)

5 相談案件：10件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/23	水産加工	水産加工施設整備への支援制度について
2	5/24	新規創業	玩具、雑貨の製造販売について
3	5/31	特用林産	竹パウダー、竹炭等の工場移転について
4	6月	農産加工	農産加工、経営分析について
5	6月	商業	古民家の活用事業について
6	7月	商業	中山間での店舗経営について
7	7月	商業	直販所の運営改善について
8	7/24	畜産	七面鳥増産に向けた体制づくり（組合の組織化）及び外商の相談
9	8/9	特用林産	クロモジ茶の粉末加工について
10	8/14	農産品	農産品の加工場についての相談

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十町	素材名	鶏卵
		関連素材	地域農産物（鶏肉、しいたけ、栗など）
現状・課題	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ぶらうんは、昭和50年より四万十町で養鶏を開始し、「コロンスの茶卵」など高品質な鶏卵の生産を行ってきた。平成29年2月の頭羽数調査時点では、約22,000羽の鶏を飼育している。 ・平成24年には、自社鶏卵を使用したこだわりのスイーツを製造販売する店舗「こっこらんど」を開業し、順調に売上を伸ばしている。 ・卵、スイーツの主な販売先としては、直営店「こっこらんど」のほか、県内外のスーパー、デパート、ネット通販等があり、四万十町のふるさと納税返礼品としても人気が高い。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小鶏卵生産事業者が減少し大規模事業者への集約が進んでいる ・他の鶏卵生産者との事業の差別化 ・鶏卵消費量の減少 ・生産体制の維持・強化（従業員の確保、製造・作業・配送工程の改善など） ・農場、加工場の衛生管理（HACCP、ISO22000の取得など） 		
	方向後の	<ul style="list-style-type: none"> ・自社鶏卵を使用した加工品（スイーツ）の製造販売の規模拡大 ・自社鶏卵と地域農産物（鶏肉、しいたけなど）を組み合わせた惣菜の製造販売開始 ・自社鶏卵と地域食材（トマト、いちじく、苺、栗、ブルーベリー、生姜など）を組み合わせた新商品の開発 ・連携企業と流通・販路等の情報共有を行うことで生産・販売力を強化 	

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大
	関係市町村名	四万十町

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設整備：加工場の規模拡大を行い、スイーツの増産と惣菜を製造できる体制を整備 2. 店舗拡大：高知市内にこっこらんど2号店を開店 3. 移動販売：移動販売車による外商活動を実施 4. 商品開発：既存のスイーツのブラッシュアップ、惣菜商品の開発・販売 5. 販路拡大：展示会、商談会、催事への参加、販促パンフレットの作成、通販サイトのリニューアル
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 株式会社ぶらうん</p> <p>【関係機関】 地域産品生産農家等</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・加工施設整備 				<ul style="list-style-type: none"> ・こっこらんど2号店開業 ・移動販売車導入
商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・スイーツ商品の磨き上げ ・新商品の開発(スイーツ以外の卵商品) 				
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会、商談会、催事への参加 ・パンフレット作成 ・HPリニューアル 				

指標・目標	項目	事業実施【H29】 ※H29.11月期	1年後【H30】 ※H30.11月期	2年後【H31】 ※H31.11月期	3年後【H32】 ※H32.11月期	4年後【H33以降】 ※H33.11月期以降
	加工品売上高	50,000千円(見込)	66,185千円	84,677千円	94,262千円	110,411千円
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ぶらうんの会計年度：12/1～11/30 ・農場部門を除く加工品の売上高 				

総事業費等	<p>総事業費 108,498千円 (うち29年度 108,498千円) ※H29.8.4時点</p> <p>(内訳 国： 県：50,000千円 市町村： その他：58,498千円)</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援：</p> <p>その他：</p>
-------	---

備考	
----	--

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
43 四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大 《四万十町》	養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。	・(株)ぶらうん	アクションプランの取組開始:H29		◆施設整備 ◆商品開発 ◆販路拡大

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	 施設整備 加工施設整備			 こっくらんど2号店開業 移動販売車導入	加工品売上高 (H28:49,691千円)	84,677千円
	 商品開発 ・スイーツ商品の磨き上げ ・新商品の開発(スイーツ以外の卵商品)					
	 販路拡大 展示会、商談会、催事への参加					
	・パンフレット作成 ・HPリニューアル					

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H29.9.19

幡多地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域の地域アクションプラン（48事業）は、H28年度に引き続き、アドバイザーの活用や各種研修会への参加等による事業戦略づくりや商品の磨き上げ、食品加工では衛生・品質管理体制の強化に向けて県版HACCPを取得する事業者や新たな加工場をつくり生産拡大や新商品づくりに取り組む事業者も出てくるなど、事業のワンランクアップに積極的に取り組んでいる。また、地産外商の拡大を目指し、それぞれの事業者が県内外での営業活動・商談会への参加に加え、地域内の事業者相互の情報交換や、市町村と連携した外商活動を行っている。

農業分野では、「ユズ」、「直七」、「ぶしゅかん」等の柑橘の産地化やブランド化、青果や加工品の地産外商を目指し、作付面積の拡大や、官民協働による地域での体制づくりなどの取り組みが順調に進められている。特に「ユズ」は、三原村農業公社を中心に集落活動センターや地域住民との連携を密にしながら、新植が順調に行われ、栽培面積も増加している。畜産関係でも長期肥育鶏の飼育、加工を行い「あしずりキング」としてブランド化していく取り組みが始まり、四万十牛と合わせて今後に期待の持てる動きが出てきている。

林業分野では、土佐備長炭のさらなる生産量の拡大と品質の向上を目指し、生産体制の強化や販路拡大に向けた取り組みが進められている。また、懸案となっている原木の確保については、各地区との伐採契約の締結交渉や、将来を見据えて伐採後の山の管理や、新たな植林の検討などに取り組んでいる。

水産業分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」、「ブリ」、「タイ」、「キビナゴ」等の加工品づくりに取り組む水産加工事業者を中心として、積極的な外商活動の展開、県外の飲食関係の事業者と連携した販売の仕組みの確立に取り組むことによって生産を拡大し、一定の雇用の創出につながっている。一方で、従業員募集をしても応募者がいないなど、必要な人員の確保が出来ないという事業者の声もあり、関係各方面と協議を重ね、地域内での人材育成の仕組みづくりや、県の人材確保の取り組みの積極的な活用なども行っている。さらに、地域の事業者や関係団体、行政等が一丸となり、「メジカ」や「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった地域の強みを活かした地域産業クラスターの形成を目指す取り組みも進んでいる。

観光分野では、滞在型・体験型観光の確立を目指し、地域の観光地づくりのかじ取り役となる「幡多広域観光協議会」を核として、6市町村や観光関係団体の連携のもと、誘客力の高い着地型の旅行商品や体験メニューづくり、それを活用した旅行会社等へのプロモーションや海外でのインバウンド誘致の取り組みが引き続き展開されている。スポーツツーリズムの取り組みでは、各市町村や7月にオープンした人工芝グラウンドを加えた土佐西南大規模公園の各施設を生かして、合宿や大会の誘致に取り組んだ結果、すでに昨年度を上回る利用予約を受けている。引き続き、地域の体験型メニューも取り入れた提案や、地域内の民間事業者や集落活動センターと連携した受入体制の充実にも取り組み、さらなる利用拡大を目指している。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田蘭園 ・蘭遊六志会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：165,000 千円<H26：80,438 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：100,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：100,000 千円→実績 75,611 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (1～6 月)：25,135 千円 (前年同期比 107.2%)</p> <p>◇販路開拓と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取り組み <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益アップに向けた更なるコスト削減策の検討 ⇒海外の生産拠点からの安定的な苗供給体制の確立 ・切り花出荷の強化 ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大 ・新たな取引先の獲得 ⇒県外でのフェアや商談会への参加などの営業活動の展開
<p>■No.2 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) 成田果樹園 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：65,000 千円 <H27：44,179 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：47,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：47,000 千円→ 実績：47,818 千円 (H28.8～H29.6 月)</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (H28.8～H29.6 月)：47,818 千円 (前年同期比 117.2%)</p> <p>◇新事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柑橘を利用した美容と健康のワークショップの開催 (6/18) <p>◇既存商品の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取り組み ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな市場開拓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒シトラスビューティー(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施及び商品購入に繋げていくための戦略づくり ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進 ⇒小規模事業者持続化補助金を活用した新事業向け商品の開発
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)足摺農園 ・土佐清水市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産羽数:3,000羽<H27:0羽> 加工出荷額:14,994千円<H27:0円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生産羽数:1,000羽 加工出荷額:3,528千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>－(H29新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇加工処理施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体の経営力強化に向けたアドバイザーの活用協議(4/24) ・加工処理施設等整備事業に係る産振総合補助金審査会(8/31) <p>◇生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期肥育鶏の試験肥育の継続(H29試験肥育30羽) <p>◇流通体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西方面の販路開拓協議(6/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工処理施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振総合補助金を活用し加工場整備(8月審査会) ⇒県版HACCP認証取得に向けたアドバイザーとの協議 ・販路の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販売予定先との具体的な協議
<p>■No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・四万十ぶしゅかん生産者組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>栽培面積:1,440a<H27:490a> 生産量:46,800kg<H27:18,700kg></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>栽培面積:1,020a 生産量:31,500kg</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・ 四万十ぶしゅかん(株)</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>栽培面積：840 a → 実績 720 a 生産量：25,600kg → 実績 26,259kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>栽培面積（5月末）：720a（前年同期比 100%）</p> <p>◇産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新植希望園地の協議（4/17）、現地確認（5月～） ・ 接ぎ木苗の育苗指導（4月～） <p>◇生産量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若木の管理等の定例的な講習会、現地指導の開催 （5/2、5/10、5/12、5/16、5/22、5/26、6/8、6/9） ・ 栽培マニュアルの改訂及び結果樹限定防除暦の作成 （6/20） ・ 苗木の購入に係る市単独補助事業の実施（4月～） ・ 生産者組合役員会（5/22） ・ 生産者組合総会（5/26） <p>◇集出荷体制の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集出荷体制の検討（5/22、5/26） ・ 出荷基準検討会（7/11） <p>◇生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 研修受講（6/6～7） <p>◇展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 催事販売等の実施（4回） ・ 商談会へ出展（5/30、6/21、6/23） <p>◇各種媒体での PR 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぶしゅかんどリンクのテレビCM放映 ・ ぶしゅかんだンス振付ガイド（DVD、CD）制作（6/27） ・ ぶしゅかん解禁イベント開催（8/19） ・ 首都圏でぶしゅかんキャンペーン （浅草農園 9/9～9/10） ・ ふるさと納税返礼品に青玉を出品（9/12～9/30） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者の生産技術、ノウハウの習得 ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施 ・ 集出荷体制の効率化 ⇒出荷基準の周知徹底 ・ 100年ぶしゅかんブランドの確立 ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上 ⇒青玉の出荷基準の試行

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立 ⇒商品コンセプトの再構築 ・ぶしゅかんの認知度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地元の飲食店等での活用促進 ⇒メディアを活用したぶしゅかんのPR強化 ・生産コストの削減、衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設整備 ⇒県版 HACCP 認証の取得に向けた取り組み
<p>■No.5 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 三原村農業公社 ・三原村 ・J A高知はた 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生産量：495 t <H26：103 t> 販売金額：129,388 千円 <H26：16,738 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生産量：240 t 販売金額：50,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生産量：175t → 実績 221.5 t 販売金額：27,500 千円 → 実績 45,020 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売金額 (6月末)：1,660 千円 (前年同期 0 円)</p> <p>◇地域農業支援システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社を核とした農業支援システムづくりの検討 ・ユズの栽培管理技術の向上 <ul style="list-style-type: none"> 剪定講習会 (4/21) 組合員戸別巡回 (4 回) 新規就農者巡回 (5 回) 栽培講習会 2 回 (4/28, 5/26) <p>◇青果出荷体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷マニュアル、施設利用申し合わせ事項の検証 <p>◇基盤整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域所得向上支援事業における農地造成等の設計委託業務発注 (5/23) <p>◇ユズ商品加工・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ皮を使った商品づくり、販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ピール菓子商品化、4 月より試験販売 <p>◇肥培管理の徹底、青果率向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会 (4/28、5/26)、 ・剪定講習会 (4/21) ・公社ユズ園巡回 (4 月～6 月：7 回実施) ・公社一般部会員個別巡回 (5/26、5/31、6/5、6/13)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者巡回 (4/5、5/2、5/17、5/19、6/5、6/13) ◇ユズ共同選果施設運営の確立 ・関係者 (J A、公社、村、ユズ部会、センター) 協議 (4/24) ◇新規就農者の栽培技術の向上 ・戸別巡回指導 (4/5、4/24、5/2、5/10、5/19) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の充実 ⇒県版 HACCP 第3ステージの申請検討
<p>■No. 7 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売量 : 200 t < H26 : 75.7t ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売量 : 120 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売量 : 120 t → 実績 113.6 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売量 (6月末) : 24.9 t (前年同期比 86.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生産力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催 (事業計画等の協議) (5/17) ◇原木 (ウバメガシ) の安定的な確保 <ul style="list-style-type: none"> ・町内地権者との伐採契約交渉 (契約締結 : 約 6ha) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木 (ウバメガシ) の安定的な確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒山林の確保に向けた関係先との調整 ⇒苗木植樹の検討 ・生産の安定化と増産、品質の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得 ・売上アップに向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒新たな販売先の確保に向けた営業活動の強化
<p>■No. 10 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアーサーティ <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 4.0 億円 < H26 : 2.7 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 3.7 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 3.7 億円 → 実績 3.78 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (H29.5月期) : 3.78 億円 (前年比 113.3%)</p> <p>売上高 (6月) : 31,760 千円 (前年同期比 113.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな中国人新規実習生の受入が決定 (9月～予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き締めの鮮魚の取り扱い開始(4月生簀完成) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた販売量の増大と更なる取引先の拡大 ⇒自社レストラン等での周年によるイベントの開催 ・安定した生産体制の整備 ⇒従業員の募集の継続
<p>■No. 11 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)沖の島水産 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:6億円<H26:2.5億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:3.5億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:3.5億円 → 実績 4.18億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(H29.6月期):4.18億円(前年比153.7%)</p> <p>◇商品開発と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の展示会・商談会への出展 ・県外系列店の新規開店(7/28) <p>◇生産体制の充実、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい加工場の整備(工事中、年内稼働予定) <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキューバダイビングのPR <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社レストラン以外の販路開拓 ⇒通信販売(ネット、DM)等の強化 ・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP研修の受講の検討 ・漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化
<p>■No. 12 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)勇進 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:2.56億円<H26:0円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:1.26億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:1.26億円 → 実績 0.94億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(H29.4月期):0.94億円</p> <p>売上高(5~6月):13,000千円(前年同期比146.1%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施 ・シーフードショー等商談会の出展(8~10月)準備、取引先との調整及び取引交渉の促進(4/11、4/21、5/25) <p>◇生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員教育実施の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ⇒新商品の開発及び経営見直しに向けた、アドバイザーの活用(9月~予定) ⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進 ・衛生管理体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒HACCP取得に向けた社員教育の実施 ・生産体制の充実、強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒責任者の配置、人材育成の強化
<p>■No. 14 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八重丸水産(株) <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 29,820千円 < H26: 25,950千円 ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 27,500千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 26,500千円 →実績 33,775千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>きびなごケンピ売上高(H28.9~H29.6月): 22,749千円 (前年同期比 78.0%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷 ・日曜市(イカの日干し、太刀魚、ウツボ、イワシ等)への出店(毎週日曜日) ・県内外の商談会への出展 <ul style="list-style-type: none"> 産地視察型商談会(5/30)、東京シーフードショー(8/23~8/25)ほか、9月に2回出展予定 ・県版HACCP(第2ステージ)認証(7/27) <p>◇市場ニーズに対応した新商品の開発。商品の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品(イカのポン菓子)の試作品完成 ・きびなごケンピ新風味(一味)の試作 ・商品形態のバリエーション充実の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新商品の開発や既存商品の改良 ⇒新商品の試作や既存商品の磨き上げ、商品形態のバリエーションの充実 ・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒販売管理システムの導入等による体制強化を含めた経営力の向上
<p>■No. 15 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐大月海産 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 33,000千円 < H26: 14,549千円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品売上高: 25,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品売上高: 20,000千円 → 実績 23,721千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高(1~5月): 9,387千円(前年同期比 121.0%)</p> <p>◇販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な干物販売 ・県内商社を通じたきびごまの販売 ・通年用リーフレットの作成(5月~) ・お中元商品のDM発送、宣伝・販売(6~8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の構築 ⇒県版 HACCP の取得に向けた社員教育の実施 ・売上アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒インターネット販売、カタログ販売の強化
<p>■No. 16 幡多地域産品販売体制構築事業(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市 ・土佐清水市 ・四万十市 ・大月町 ・三原村 ・黒潮町 ・生産者 ・加工事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>協議会の活動強化 事業者等の課題把握と関係者の情報共有の仕組みづくり</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>関係者による組織体制の基盤づくり</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催(6/2) ・作業部会の開催(6/2、7/10、8/3、9/1) ・高知県産品商談会運営視察(スタッフ参加)(5/30) ・事業者調査の実施(4月~、8月末完了予定) <p>◇販路開拓及び販売促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ(株)への商品提案、意見交換(5/20)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・サニーマートとの情報交換会 (5/19) ・アクロスリングとの情報交換会 (7/15) ・幡多フェア現地打合せ (サニーアクシス南国店・7/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6市町村の連携強化 ⇒定期的な作業部会の開催 ・効果的な外商活動に向けた事業計画等の策定 ⇒商品提案書の作成 ⇒外商活動の展開(産地視察型商談会の開催、県外バイヤーの招聘、幡多フェアの開催 など) ・効率的な情報の収集と共有 ⇒事業者調査の結果をもとに、関係者間のネットワークの構築
<p>■No.17 直七の生産、加工、販売の促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産(株) ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直七果実生産量：200 t <H27：117 t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>直七果実生産量：220 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>直七果実生産量：220 t → 実績 171 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者追加のための説明会開催 (5/18) ◇販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・CGC ジャパン商談会出展 (4/7) ・日本アクセス内覧会出展 (6/14) ・三井食品フードショー出展 (6/21～6/22) ・ジャポニックス展示会出展 (6/27～6/28) ・伊藤忠食品商談会出展 (7/12in 東京、7/13in 名古屋) ・「直七の日」(10/7) に合わせたイベント実施の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料(直七)供給の安定化 ⇒新規生産者の増加及び生産方針の教育の徹底、計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化
<p>■No.18 昭和初期からの地域伝統商品の販売 拡大等事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：60,000 千円 <H26：3,000 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：48,000 千円 (羊羹パン 38,000 千円、ラスク 10,000 千円)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：45,000 千円 → 実績 42,510 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末): 11,988千円(前年同期比114.7%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会出展(5月) ・駅ナカ催事 (JR新橋駅: 5/23~5/31、JR大森駅: 6/1~6/7) <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の農産物を使った冷凍スイーツ(かぼちゃ、ぶしゅかん、栗、柚子、お茶、芋、トマトなど)等を開発中 ・羊羹ぱん「やまもも味」発売(6月限定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹ぱんの更なる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取り組みの強化 ・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒官公庁、自主防災組織等への売り込み
<p>■No. 19 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 25億円(2社合計) <H26: 17.92億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高: 22.1億円(2社合計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高: 19.8億円 → 実績 18.01億円(2社合計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高</p> <p>土佐食(株)(5月末): 243,850千円(前年同期比88.6%) (株)土佐清水元気プロジェクト(4月末): 13,300千円</p> <p>◇経営戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立(4/26) <p>◇原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジカ漁師の研修生の受入: 2名 ・メジカの市場価格安定に向けた買付資金に、地域ファンドを活用 <p>◇商品開発及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29高知県産品商談会(5/30)他11催事等に参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会を中心とし、関係団体が連携してハード・ソフト事業を推進 ⇒作業部会の開催 ・衛生管理の強化 ⇒県版 HACCP 取得の推進 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開
<p>■No. 20 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) ウェルカムジョン万カンパニー <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：70,000 千円<H26：47,600 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：70,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：70,000 千円 → 実績 91,242 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額（1～6 月）：39,400 千円（前年同期比 111.0%）</p> <p>◇外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 高知県産品商談会への出展（5/30） <p>◇衛生管理の向上による生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得（5/23） （第 3 ステージ申請中） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に増加した売上の維持 ⇒県外での商談会や催事等への積極的な参加 ⇒利益率の高いプライダル商品等に注力
<p>■No. 21 地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水沸騰社中 ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ・(株) 郷土活性化組合 <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>—（H29 新規 A P）</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運送会社とチャーター便について調査・協議 （4～5 月） <p>◇地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ワールドの店舗展開拡大 ➢土佐清水ワールド 神戸 4 号店（7/12 開店） ➢土佐清水ワールド 東京・上野店（7/26 開店）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通システムの構築 ⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組みづくり ⇒輸送コストの削減に向けた輸送方法の検討 ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズに合った新商品の検討
<p>■No. 22 海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・民間事業者 ・漁業協同組合等 <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標（H31）]</p> <p>来客数：1,600人<H28：300人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>来客数：300人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>－（H29 新規AP）</p> <p>[取組状況]</p> <p>来客数（6月末）：375人</p> <p>◇多様な事業者等と連携した受入体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な許可等の手続の確認（遊漁船業等について、市・県で実施） ・事業の進め方等についての検討会実施（6/16、民間事業者・市・県） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客の促進 ⇒食、スポーツ及び教育などとの分野連携を意識した体験メニューづくり及び誘客計画の作成
<p>■No. 23 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株）しまんと美野里 	<p>[目標（H31）]</p> <p>栗加工品製造量：8.0t<H26：4.0t></p> <p>原材料（生栗）仕入量：12t<H26：6.5t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>栗加工品製造量：7.0t</p> <p>原材料（生栗）仕入量：11t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>栗加工品製造量：6.0t → 実績6.1t</p> <p>原材料（生栗）仕入量：10t → 実績9.8t</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品の高付加価値化と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休施設（しまんと庵）を活用した焼き栗販売所の整備（小規模事業者持続化補助金（商工会）の活用、8月開店予定） ・飲食店営業許可の取得

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 認証の取得に向けた取り組み (6/21 書類指導) (7/12 現地指導、8 月末、9 月末書類指導予定) ・ 高知県産品商談会への出展 (5/30) ・ パウダーを活用した商品 (ビスケット、焼きショコ ラ、マシュマロ、ミレーサンド) を道の駅を中心に販 売 ◇栽培しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家定例会の開催 (4/4、7/13) ◇地域の他素材を使った加工品づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 青唐辛子下処理、ゆず製品の加工・販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な栗の仕入れ ⇒市役所、JA 高知はたなど関係機関との連携強化 ・ 道の駅を中心とした販売促進、PR ⇒道の駅での統一した商品ラベルの作成、貼付
<p>■No. 24 四万十牛の生産・販売拡大事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)四万十牛本舗 ・ 西土佐中央牧場 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000 千円<H26：131,446 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：150,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：150,000 千円 → 実績 183,813 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇販路拡大と新商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅「よって西土佐」と連携したメニュー等の提供 (弁当：四万十牛カルビ丼、そばろ丼、食堂メニュー： 四万十牛カレー、四万十牛ステーキなど) ・ 新商品 焼肉よこやまのたれ (2 種) の販売開始 (4 月～) ・ 県内スーパー (3 社) との精肉取引開始 (4 月～) ◇原材料供給体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育頭数の拡大 (140 頭 (5 月) →年度内 200 頭へ) ・ 農畜産連携及びクラスターについて、西部家畜保健衛 生所、幡多農業振興センターと協議 (6/14) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド化に向けた取り組み ⇒四万十牛の認知度の拡大に向けた商品開発や店舗の PR 及び販促活動の強化 ・ 道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくり ⇒継続的な新加工品等の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市 	<p>・糞尿処理対策、繁殖農家の確保など、一連の課題解決 ⇒関係機関の連携による農業好循環の推進体制の構築</p> <p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：150,000千円<H26：0円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：160,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：100,336千円 → 実績 166,767千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末)：40,895千円(前年同期比79.0%)</p> <p>◇地域ならではの商品づくり、販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業1周年イベントの開催(4/9) ・運営会議の開催(4/11、5/9、6/13) ・新商品(にしとさ苺ジャム)販売開始 ・月次まつりの開催 (4月・1周年、6月・父の日、7月・とうもろこし) <p>◇周辺施設・商店街等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛奥伊予チャーハン街道への参加(4/22～11/30) ・2リバービューライド担当者会(5/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発 ⇒集客アップのためのイベント等の開催 ・周辺整備の計画づくり ⇒将来を見据えた整備計画の作成
<p>■No. 26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>商品売上高：50,000千円<H26：30,000千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品売上高：58,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品売上高：40,320千円 → 実績 48,873千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高(5月末)：8,875千円(前年同期比136.4%)</p> <p>◇自社商品の開発強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節入りのゆずポン酢と塩ポン酢を開発中 <p>◇生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振総合補助金申請に向けた協議(4～8月、16回) ・加工場整備事業に係る産振総合補助金審査会(8/31)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得 (5/16) ・ HACCP アドバイザー個別指導 (6/21) <p>◇販売拠点整備と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外での販促活動 (3 回) ・ 商談会への参加 (4 回) (4/12~4/13、5/30、6/6~6/8、6/16、6/28) ・ 台湾高知県フェア打合せ (4/24) 現地スーパーとの商談 (6/22~6/24・台湾) <p>◇四万十市地域商品研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会の開催 (4/18、5/26) ・ 人材育成セミナー開催に向けた協議 (4/21、5/1、5/10、6/26、8/16) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産拡大に向けた施設整備 ⇒産振総合補助金の活用による新加工場整備に向けた事業計画及び収支計画の策定 ・ 地域商品研究会の活動強化 (会員の確保等) ⇒定例会及び人材育成セミナーの継続開催、会員募集
<p>■No. 27 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WAN LIFE 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 10,352 千円 <H26 : 2,088 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 30,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 6,073 千円 → 実績 10,756 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高 (5 月末) : 5,475 千円 (前年同期比 142.7%)</p> <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の事業者と連携した商品開発 ・ マグロ (大月町) の心臓を原料とした商品を開発中 ⇒試作品完成、金属検査 (水銀含有量) 実施予定 ・ 主食となる商品の開発 ⇒市産振補助金活用による厨房施設等整備 (5/17 付け採択) <p>◇販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産振アドバイザーの活用 (通販サイトの強化) (5/19、5/20、7/10) ⇒新HPの開設 (9 月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上の増加 ⇒通販サイトの強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒主食商品の開発(商品ラインナップの更なる充実) ⇒企業向けの営業活動を強化 ・県産原材料の確保 ⇒原材料生産者の情報収集
■No. 28 四万十の地域食材を中心とした商品 開発・販売事業(四万十市) 《事業主体》 ・(株)LLP しまんと	[目標(H31)] 売上高: 37,500千円<H26: 24,297千円> [H29 到達目標] 売上高: 27,000千円 [H28 到達状況] 売上高: 29,000千円 → 実績 22,402千円 [取組状況] 売上高(5月末): 4,759千円(前年同期比134.6%) ◇商品のラインナップの充実 ・ゼリーシリーズにぶんたん味が追加(6/4 計3種(ユズ、グァバ、ぶんたん)) ◇販路開拓及び販売促進 ・商談等への参加 2回(5/30、6/16) ・10社との新規取引を開始 ◇組織強化 ・HACCP研修受講(6/6~6/7) [課題と今後の対応] ・生産コストの縮減 ⇒生産の効率化に向けた設備導入の検討 ・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開
■No. 29 素材の特性を活かした地域色豊かな 冷凍加工食品の開発・製造・販売事業 (四万十市) 《事業主体》 ・(有)和	[目標(H31)] 売上高: 23,852千円<H26: 11,744千円> [H29 到達目標] 売上高: 17,800千円 [H28 到達状況] 売上高: 14,680千円→実績22,092千円 [取組状況] 売上高(H29.5月期): 22,092千円(前年比151.0%) ◇販路拡大 ・県内外のイベント等での実演販売の実施(19回) ・商談会への参加 1回(5/30) ・市産振補助金採択(7/21) 展示会、商談会経費及び販促グッズ作成 ◇商品開発及び改良 ・ぶしゅかん塩だれ(万能たれ)を開発予定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携事業として高幡地域の事業者と連携した商品開発等を実施予定 <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品表示研修 (6/14) ・土佐 MBA 土佐経営塾を受講予定 ・HACCP 研修受講 (6/6～6/7) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開 ・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化 ⇒県版 HACCP に対応した新たな施設整備の検討
<p>■No. 30 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>運営主体の決定 基本設計の取りまとめ</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>— (H29 新規 A P)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体の公募内容の検討 (4～5 月) ・運営主体の公募 (6/1～7/14)、審査会の開催 (8/9)、運営主体の決定 (8/9・四万十にぎわい商店 (株)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実効性の高い事業計画の策定 ⇒運営会の定例開催 (9 月～ 予定)
<p>■No. 31 大月町まるごと販売事業 (拠点ビジネス) (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)大月町ふるさと振興公社 <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 2.5 億円 < H26 : 1.86 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 2.07 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 2.4 億円 → 実績 2.02 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (8 月末) : 0.93 億円 (前年同期比 106.9%)</p> <p>◇地場産品総合販売ビジネス (ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客アップに向けた各種イベントの実施 (4/23 つつじ祭り、5/5 GW イベント) ・おおつきふれあいマーケットの実施 (毎月第 3 日曜日開催)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等へ出店 (宿毛市産業祭、ウミノフォトフェス等) ・県内の商談会への出展 (5/30 産地視察型商談会) ・夏ギフトカタログの作成・販売 (6月～) <p>◇町内事業者と連携した特産品開發生産ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年用の通販ビジネスの検討 ・テイクアウト商品の開発、販売 (1品、クレープ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒売店における商品の充実、強化 (幡多地域の商品の充実等) ⇒テイクアウト商品の充実、強化 ・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒通年によるカタログ、ネット販売の展開
<p>■No. 32 苺を核とした6次産業化確立事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人 苺氷り本舗(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：苺氷り 80,000千円<H26：65,120千円> その他 7,600千円<H26：4,000千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：苺氷り 70,000千円 その他 7,600千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：苺氷り 70,000千円→実績 56,876千円 その他 7,600千円→実績 7,861千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額 (H28.12～H29.4月)：</p> <p> 苺氷り 5,291千円 (前年同期比 88.9%) その他 2,639千円 (前年同期比 89.4%)</p> <p>◇販路開拓及び広告宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での営業活動の展開 ・取引先との関係構築のための販売フォロー ・各種イベントへ出店 (Tシャツアート展、ウミノフォトフェス等) <p>◇新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OEM商品の試作 (仁淀川町沢渡茶を使った氷り) ・生鮮苺の収穫 (7t) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での販路拡大、各取引店舗における販売量の増大 ⇒販売先の確保に向けたコンセプトの見直しや経営戦略づくり

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 三原村のどぶろくによる地域活性化事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・土佐三原どぶろく合同会社</p>	<p>・新たな商品づくり、OEM生産の促進 ⇒苺氷り以外の商品づくり</p> <p>[目標(H31)] 売上高:8,630千円<H27:4,540千円></p> <p>[H29到達目標] 売上高:8,630千円</p> <p>[H28到達状況] 売上高:5,900千円→実績8,159千円</p> <p>[取組状況] 売上高(6~8月):1,889千円 ◇販売促進 ・商談会への参加(県商談会(5/30)、まるごと高知(6/23)等) ・イベントへの出展(宿毛市まるごと産業祭(4/29)、大月町ウミノフォトフェス(6/10)) ・新商品の開発(どぶろくしっとり「ぜいたく」ケーキ:6月) ・新しい規格の製品(500mlビン)を作ることやファン拡大を目指してクラウドファンディングの開始(7/7) ◇組織体制の強化 ・新パンフレットの作成(4月) ・SNSによる商品PRの研修参加(5月)</p> <p>[課題と今後の対応] ・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携 ・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発 ・販路の拡大 ⇒県外でのPR活動、商談会等への参加</p>
<p>■No. 34 地域産トマトの加工・販売の推進事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ベストグロウ</p>	<p>[目標(H31)] 売上高:65,000千円<H26:32,850千円></p> <p>[H29到達目標] 売上高:45,000千円</p> <p>[H28到達状況] 売上高:40,000千円→実績78,516千円</p> <p>[取組状況] 売上高(5~7月):25,558千円(前年同期比162%) ◇生産体制の充実・強化 ・新規雇用1名(4月)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>➤青果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町での生産、出荷 <p>◇販売促進と商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用(商品開発・販売)(5月) ・商談会参加(県商談会(5/30)等) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓 ・トマトピューレの販路拡大 ⇒トマトピューレの業務用販売を検討
<p>■No. 35 天日海塩を活用したビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)ソルティープ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:23,000千円<H27:12,000千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:19,500千円</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:15,000千円 → 実績14,310千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(3~5月):4,334千円(前年同期比130.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品 粗塩の販売開始(5月) ・塩づくり体験の受入 ⇒体験者数(3~5月):83人(前年同期比176.6%) <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外事業者の産地視察対応(5/22) ・高知県産品商談会への出展(高知)(5/30) ・食の魅力発見商談会への出展(東京)(6/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の効率化 ⇒異物除去作業の設備導入 ・商品の知名度アップとさらなる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発 ・塩づくり体験への誘客促進 ⇒体験観光の促進に向けた体験施設の整備
<p>■No. 36 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:209,945千円<H26:118,658千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:204,824千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:199,829千円 → 実績220,812千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末): 61,518千円(前年同期比105.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3周年祭の実施(4/9) ・「カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバル」との連携(道の駅での紙のこいのぼり販売、フェスティバル会場での道の駅割引券配布)(5/3) ・道の駅ビオスおおがたとの情報交換会(6/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進のための魅力ある店舗づくり ⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化 ⇒黒潮一番館など地元の事業者や関係機関との連携強化 ⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用
<p>■No. 37 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 130,310千円 < H26: 84,159千円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高: 120,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高: 115,000千円 → 実績 79,037千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(3~5月): 23,875千円(前年同期比85.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町産業創造セミナーへの参加(5/8、7/4) ・黒潮町HP、県移住HPへの求人掲載(4月、5月) <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の魅力発見商談会への出展(東京)(6/28) ・こだわり商品展示会への出展(東京)(7/25) ・シーフードショーへの出展(東京)(8/23~8/25) ・日本名門酒会全国大会への出展(東京)(9月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先との取引強化及び新規取引先の開拓 ⇒主要取引先(4社)との連携強化による取引量の増大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・従業員教育の強化 ⇒県版HACCP第3ステージに基づく衛生管理手順の遵守及び社員教育の継続的な実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 地域資源を活かした防災関連商品推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:1億円<H26:0.13億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高:97,632千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高:50,000千円 → 実績71,774千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(5月末):10,923千円(前年同期比178.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツアート展、はだしマラソンへの出店(5月) ・黒潮町産業創造セミナーへの参加(5/8、7/4) ・ネットショップ「売上・収益アップ」実践セミナーへの参加(6/19) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化 ⇒継続的な社員教育の実施 ・県内外への販売促進強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒備蓄用缶詰、グルメ缶詰ごとにターゲットを絞った販路開拓 ・地域資源を活用した商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域内の事業者との連携強化
<p>■No. 39 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)幡多広域観光協議会 <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト、土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数:1,296,000人<H26:1,274,622人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>入込客数:1,296,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>入込客数:1,296千人 → 実績1,195千人</p> <p>[取組状況]</p> <p>募集型旅行受入実績(6月末):5件130人 はた旅体験受入実績(6月末):101件272人 教育旅行受入(6月末):6校、769人 韓国教員訪日団受入(87人)</p> <p>◇商品造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐の観光創生塾」への参加 <p>◇誘客促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般旅行:高知県観光説明会(5/17東京、6/19名古屋、7/6福岡、7/19~7/20広島・岡山) <p>◇組織体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光推進部会等の開催(6/2)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり ・誘致促進に向けた取り組み ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 ⇒愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開 ・関係団体と連携した組織強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO候補法人登録を活かした観光地づくり
<p>■No. 40 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 幡多広域観光協議会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>入込客数：8,470人<H26：4,600人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>入込客数：11,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入込客数：5,291人 → 実績8,541人</p> <p>[取組状況]</p> <p>入込客数(8月末)：4,385人(前年同期比112.5%)</p> <p>◇地域の受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験、民泊の受入体制づくり ・集落活動センター等と連携した受け皿づくり ・受入関係者勉強会(食品衛生など)(7/3) <p>◇PR、誘致活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携によるプロモーション活動の展開(中国、関西等への誘致) ・人工芝グラウンド プレオープンサッカーフェスティバル(7/15～7/16) オープニングセレモニー(7/22) <p>◇広域連携による取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多広域観光協議会広域観光推進部会(6/2) ・黒潮町スポーツツーリズム推進会議(4/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝も含めた施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制づくり ⇒受入体制づくりに向けた各市町村とのさらなる連携強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続 ・地域の受入体制づくり ⇒観光協会、旅館組合等との受入協議 ・集落活動センターなど地元住民の積極的な関わり ⇒集落活動センター等を活用した宿泊・お弁当販売、体験受入をセットにした仕組みづくりの継続
<p>■No. 42 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(一社) 土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>入込客数：12.5 万人 <H26：9.5 万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>入込客数：106,250 人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入込客数：106,250 人 → 実績 87,253 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>入込客数 (5 月末)：22 千人 (前年同期比 115.0%)</p> <p>◇竜串地域との連携体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光プログラムづくり 土佐の観光創生塾への参加 ・各種ツアー、体験型観光メニュー受入 ・地元調整と住民参画の仕組みづくりに向けた検討 (竜串再生協議会 5/31) ・竜串再開発に関する行政連絡会 (6/13) <p>◇スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)スノーピーク地方創生コンサルティングと設計業務等の監修、支援についての委託業務契約締結 (5/1) <p>◇観光拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再整備に向けた関係者打合せ (4/19、5/9、5/16) ・爪白キャンプ場等基本・実施設計委託業務補助金交付決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制づくり ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒キャンプイベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり ・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成 ⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成

2 平成 29 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] ■No. 26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業（四万十市）

（概要）H32 以降の実施を検討していた「生産体制の強化に向けた施設整備」を前倒しし、H29 から取組むこととしたため、線表を一部修正する。

4 県民参画に向けた取組

- ・幡多信用金庫との包括協定協議会で第 3 期計画 ver. 2 の説明（5/16）
- ・高知銀行との情報共有会議で第 3 期計画 ver. 2 の説明（6/7）
- ・四国銀行との情報共有会議で第 3 期計画 ver. 2 の説明（8/7）

5 相談案件：5 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/27	観光	地域住民の観光への積極的な参加などについて
2	5/23	水産加工	水産加工所、直販所、飲食店の新規開業について
3	5/24	水産業	ツガニ養殖事業について
4	6/15	6 次産業化	シモン芋を活用した 6 次産業化の事業展開について
5	8/30	商業	宿毛周辺の農畜産物、水産物等を活用した首都圏での事業展開について

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 修正前	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・しまんと百笑かんばん(株) ・四万十市地域商品研究会	アクションプランの取組開始:H26 ・新商品開発等(H26~) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。(H26) ◆既存商品(5種類)のブラッシュアップを実施。(H28) ・販路開拓及び拡大(H26~) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。H28に県の委託を受けて台湾での高知県フェアを開催するなど、国内外で積極的に販促活動を展開している。 ・生産体制の強化(H26~) ◆加工場増設や生産設備の効率化により、増産が可能となった。 ・HACCP研修等衛生管理研修受講(H28~) ◆HACCP認証取得による販路拡大に向けた取組みを開始。 ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26~) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27~) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりやマーケティング手法の習得を目的に研修会を実施。 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発や販路拡大等のスキルアップにつながっている。	・商品ラインナップの充実 ・生産拡大に向けた施設整備 ・地域商社としての役割強化	◆自社商品の開発及び生産体制の強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 修正後	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・しまんと百笑かんばん(株) ・四万十市地域商品研究会	アクションプランの取組開始:H26 ・新商品開発等(H26~) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。(H26) ◆既存商品(5種類)のブラッシュアップを実施。(H28) ・販路開拓及び拡大(H26~) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。H28に県の委託を受けて台湾での高知県フェアを開催するなど、国内外で積極的に販促活動を展開している。 ・生産体制の強化(H26~) ◆加工場増設や生産設備の効率化により、増産が可能となった。 ・HACCP研修等衛生管理研修受講(H28~) ◆HACCP認証取得による販路拡大に向けた取組みを開始。 ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26~) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27~) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりやマーケティング手法の習得を目的に研修会を実施。 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発や販路拡大等のスキルアップにつながっている。	・商品ラインナップの充実 ・生産拡大に向けた施設整備 ・地域商社としての役割強化	◆自社商品の開発及び生産体制の強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
自社商品の開発及び生産体制の強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討					商品売上高 (H26:30,000千円)	50,000千円	
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
自社商品の開発及び生産体制の強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討 生産施設整備					商品売上高 (H26:30,000千円)	50,000千円	
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							